

## 宇部市地域包括支援センター運営協議会設置要綱

## (設置)

第1条 地域包括支援センター（以下「センター」という。）の適切な運営、公正・中立の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため、宇部市地域包括支援センター運営協議会（以下「運営協議会」という。）を設置する。

## (構成員等)

第2条 運営協議会は、次に掲げる者から、センターの公正・中立性を確保する観点から、地域の実情に応じて市長が選定する。なお、構成員は非常勤とし、再任することができる。

- ① 介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者及び職能団体
- ② 介護サービス及び介護予防サービスの利用者、介護保険の被保険者（1号及び2号）
- ③ 介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護、相談事業等を担う関係者
- ④ 前各号に掲げるもののほか、地域ケアに関する学識経験を有する者

2 運営協議会には会長を置く。会長は、構成員の互選により選任する。

## (所掌事務)

第3条 センターの設置等に関する次に掲げる事項の承認に関すること

- ① センターの設置、変更及び廃止並びにセンターの業務の法人への委託又はセンターの業務を委託された法人の変更
- ② センターの業務を委託された法人による総合事業及び予防給付に係る事業の実施
- ③ センターが第1号介護予防支援事業及び予防給付に係るマネジメント業務を委託できる居宅介護支援事業所
- ④ その他運営協議会がセンターの公正・中立性を確保する観点から必要であると判断した事項

2 センターの運営に関すること

① 運営協議会は、毎年度ごとに、センターより次に掲げる書類の提出を受けるものとする。

- ア 当該年度の事業計画書及び収支予算書
- イ 前年度の事業報告書及び収支決算書
- ウ 前年度のセンターの運営状況に関する評価の結果
- エ その他運営協議会が必要と認める書類

② 運営協議会は、①イの事業報告書及び①ウの評価結果によるほか、次に掲げる点を勘案しながら市が作成した基準に基づき、定期的に又は必要な時に、事業内容を評価するものとする。

- ア センターが作成するケアプランにおいて、正当な理由なく特定の事業者が提供するサービスに偏りがいないか
- イ センターにおけるケアプランの作成の過程において、特定の事業者が提供するサービスの利用を不当に誘因していないか
- ウ 福祉の総合相談窓口として機能を果たしているか
- エ その他運営協議会が地域の実情に応じて必要と判断した事項

3 センターの職員の確保に関すること

運営協議会は、センターの職員を確保するため、必要に応じ、運営協議会の構成員や、地域の関係団体等の間での調整を行う。

4 その他の地域包括ケアに関すること

運営協議会は、地域における介護保険以外のサービス等との連携体制の構築、地域包括支援業務を支える地域資源の開発その他の地域包括ケアに関する事項であって運営協議会が必要と判断した事項を行う。

(事務局)

第 4 条 運営協議会の事務局は、宇部市高齢者総合支援課に置く。

附 則

この要綱は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

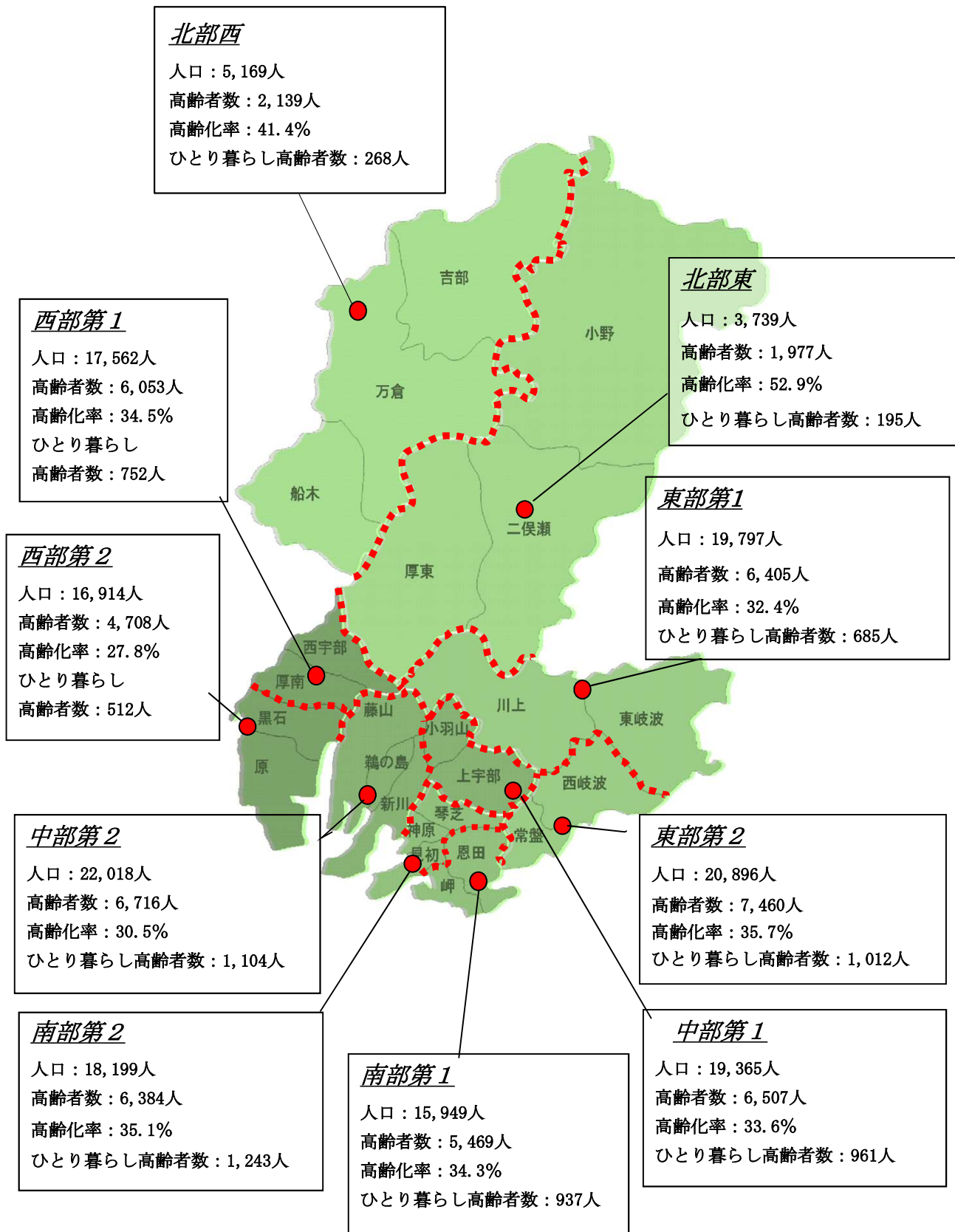
この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年6月1日から施行する。

## 宇部市地域包括支援センター圏域内設置図

R5.4.1現在



令和5年度（2023年度）圏域別人員配置比較一覧表

圏域	担当圏域	高齢者数	給付管理数	包括的支援事業等の実施に必要な人員	指定介護予防事業担当者
東部	東部第1	6,405	2,761	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	東部第2	7,460	3,826	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
西部	西部第1	6,053	3,135	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	西部第2	4,708	2,149	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
中部	中部第1	6,507	3,936	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	中部第2	6,716	3,692	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
北部東	全域	1,977	1,118	保健師1人 社会福祉士1人	1人
北部西	全域	2,139	1,264	保健師1人 主任介護支援専門員1人	1人
南部	南部第1	5,469	3,193	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	南部第2	6,384	4,062	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
合計		53,818	29,136	28人	14人

(高齢者数及び各配置人員数は令和5年4月1日時点、給付管理数は令和4年度件数)

## 令和4年度 地域包括支援センター業務実績報告書

## 【 1 総合相談支援業務 】

## (1) 総合相談の件数及び把握経路

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
訪 問	新 規	62	108	49	75	35	31	7	13	150	11	541
	延 べ	1,150	3,001	1,329	1,376	1,820	679	686	1,222	1,270	1,469	14,002
電 話	新 規	192	242	136	121	100	107	37	77	185	209	1,406
	延 べ	1,984	5,217	1,424	1,834	3,195	509	1,302	1,064	1,349	1,288	19,166
来 所	新 規	28	63	45	74	35	54	6	12	104	58	479
	延 べ	74	234	107	172	327	101	50	79	170	155	1,469
文書・メール	新 規	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	延 べ	15	0	15	15	0	0	5	16	1	2	69
その他	新 規	3	0	0	5	0	0	3	4	0	0	15
	延 べ	12	0	120	10	0	0	34	42	0	0	218
聴こえに問題 があると感じ た件数	新 規	0	0	0	0	2	12	0	0	178	0	192
	延 べ	0	0	19	34	55	24	0	2	927	30	1,091
合 計	新 規	285	413	231	276	170	192	53	106	439	278	2,443
	延 べ	3,235	8,452	2,995	3,407	5,342	1,289	2,077	2,423	2,790	2,914	34,924

## (2) 周知啓発活動

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
地域包括支援 センターにつ いて	回数	54	108	24	41	15	10	62	18	11	139	482
	対象者数	1,759	2,860	2,884	609	353	203	730	727	200	2,935	13,260
地域づくり に関するこ と	回数	4	2	1	8	10	0	3	1	0	14	43
	対象者数	60	42	40	186	2,110	0	19	10	0	145	2,612
総合事業につ いて	回数	0	2	0	0	0	1	0	1	0	7	11
	対象者数	0	37	0	0	0	25	0	5	0	142	209
介護予防に関 すること	回数	2	32	2	52	0	1	14	20	2	20	145
	対象者数	52	698	25	537	0	5	148	208	25	209	1,907
認知症に関す ること	回数	3	48	11	8	7	3	8	28	9	35	160
	対象者数	153	874	1,254	309	270	46	92	519	162	589	4,268
高齢者虐待防 止に関するこ と	回数	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	5
	対象者数	0	71	0	0	0	0	0	16	0	0	87
成年後見制度 に関するこ と	回数	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	対象者数	111	82	0	0	0	0	0	0	0	0	193
消費者被害に 関すること	回数	0	4	2	0	0	0	2	0	2	24	34
	対象者数	0	71	18	0	0	0	24	0	62	576	751
終活に関する こと	回数	0	50	0	0	0	1	1	1	0	15	68
	対象者数	23	50	0	0	0	43	12	8	0	53	189
その他	回数	17	47	12	42	0	2	3	0	10	60	193
	対象者数	691	1,082	602	634	0	12	39	0	106	1,028	4,194
合 計	回数	81	302	52	151	32	18	93	70	34	314	1,147
	対象者数	2,849	5,867	4,823	2,275	2,733	334	1,064	1,493	555	5,677	27,670

## 【 2 包括的・継続的ケアマネジメント】

## (1) サービス担当者会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
サービス担当者会議の出席回数	151	210	87	113	134	78	75	38	149	184	1,219

## (2) 同行訪問による介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直営担当ケアマネジメント	3	0	3	0	0	2	0	0	5	7	20
委託分ケアマネジメント	0	0	4	1	0	3	0	1	17	89	115
支援困難事例の後方支援	6	116	13	14	76	8	0	13	12	13	271
その他	4	2	21	0	0	0	1	2	4	0	34
合計	13	118	41	15	76	13	1	16	38	109	440

## (3) ケアプラン作成指導を通じた介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
介護予防ケアマネジメントのプラン確認数	132	122	156	125	267	388	35	31	275	177	1,708
介護予防ケアマネジメントの評価表確認数	385	483	698	397	733	865	144	148	510	627	4,990
(予防) プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	0	1	0	34	0	2	1	18	5	8	69
(介護) プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	1	2	0	0	0	0	0	12	1	0	16
合計	518	608	854	556	1,000	1,255	180	209	791	812	6,783

## (4) 研修会等に関する状況

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
ケアマネジメントの質の向上のための研修会の回数	5	2	8	31	0	2	2	3	14	16	83
多職種連携に関する研修会や事例検討会、会議等の回数	11	69	21	13	0	1	0	7	28	32	182
合計	16	71	29	44	0	3	2	10	42	48	265

## (5) 地域ケア会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
地域ケア個別会議の開催回数	1	0	4	4	13	2	0	5	3	1	33
ブロック会議の開催回数	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	22
合計	3	2	6	6	15	4	3	8	5	3	55

## (6) 他機関との連携

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
退院情報連絡システム	6	65	101	3	23	6	0	2	15	51	272
非該当への対応	0	0	0	1	2	1	0	3	3	3	13
合計	6	65	101	4	25	7	0	5	18	54	285

## (6) - 2 チームオレンジに関する状況

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
チームオレンジ活動数	11	19	7	9	8	10	3	7	9	15	98

## 【 3 介護予防支援及び介護ケアマネジメント 】

給付管理件数

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直 営	新 規	58	56	23	37	13	12	25	27	30	36	317
	継 続	1,389	2,120	1,143	958	909	759	641	777	1,362	1,986	12,044
	終 了	56	70	18	61	1	8	23	24	14	33	308
委 託	新 規	62	44	77	59	94	96	12	9	70	79	602
	継 続	1,372	1,733	1,948	1,268	2,922	2,833	479	489	1,818	2,056	16,918
	終 了	64	57	38	112	1	0	16	14	73	62	437
合 計		2,761	3,826	3,135	2,149	3,936	3,692	1,118	1,264	3,193	4,062	29,136

## 【 4 権利擁護業務 】

(1) 権利擁護に関する対応

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法定成年 後見制度	新 規	0	3	2	2	0	4	0	9	2	5	27
	延 べ	0	27	3	0	0	11	0	11	6	14	72
	専門機関につながった	0	7	1	0	0	3	0	1	1	3	16
任意後見 人制度	新 規	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
	延 べ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域福祉 権利擁護 事業	新 規	0	3	0	0	0	1	0	1	3	1	9
	延 べ	0	10	0	2	0	4	0	3	6	1	26
	専門機関につながった	0	2	0	0	0	2	0	2	3	0	9
消費者被 害	新 規	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4
	延 べ	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	6
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
終活に関 すること	新 規	0	5	0	0	0	43	0	1	0	1	50
	延 べ	0	5	0	0	0	45	0	9	0	1	60
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	新 規	0	5	0	0	0	2	0	0	0	1	8
	延 べ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	6
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	新 規	0	16	3	3	0	50	0	13	6	10	101
	延 べ	0	42	4	3	0	63	0	25	13	23	173
	専門機関につながった	0	9	1	0	0	6	0	3	5	5	29

よりそい法律相談

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法テラス	0	0	1	0	1	0	0	5	0	0	7
法テラス外	0	1	2	0	0	0	0	6	0	3	12
包括	0	0	0	7	0	0	0	2	0	3	12
合 計	0	1	3	7	1	0	0	13	0	6	31

## (2) 養護者による高齢者虐待の通報件数

## 通報経路

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
高齢者本人	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
虐待者本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
家族親族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住民知人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
関係機関	1	0	1	2	0	1	0	2	4	5	16
警察	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
医療機関	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	1	0	1	3	0	1	0	4	5	6	21



## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

東部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集う場所で相談や介護予防や健康づくりなどについて啓発する（6回以上）</li> <li>・地域で行っているサロン（6か所）や認知症カフェ（1か所）、その他のサロンに積極的に参加する。カフェほうかつにて介護予防に関する講話や実技の実施。（4回程度）</li> <li>・医療や保健・福祉など専門職と連携し健康に対する意識の向上やフレイル予防の支援を行う。（3回以上）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや地域住民が集う場を活かして介護予防・健康づくりの啓発を行う。月1回開催しているカフェほうかつで介護予防など生活に役立つ講話や実技を行う。また、地域・保健福祉支援チームや民生委員、福祉委員等と定期的な情報交換を行い新たなサロンの立ち上げ支援を行う。</li> <li>・地域・保健福祉支援チームと協働してスーパーや金融機関での看護師や保健師、社会福祉士、介護支援専門員による健康や福祉、生活等に対する相談対応や啓発等を行う。（年・月）</li> <li>・今後も継続して生活機能が低下している高齢者に対してパンフレット等を用いて介護（予防）サービスが利用できるような支援や調整を行う。（随時）</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン等への参加 サロン 6か所/6か所 認知症カフェ 1か所/1か所</li> <li>→ほぼサロンは毎月参加、カフェも開催時には参加</li> <li>・月1回包括カフェ開催</li> <li>・健康づくり・介護予防の啓発 19回/3回以上</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症やその疑いのある方について早期の相談や本人・家族の支援体制が整えられるように関係機関や民生委員、地域住民に対し認知症に対する理解を深めていただく。（カフェほうかつ、サロンや民生委員協議会で認知症に関する理解の啓発や認知症サポーター養成講座の開催）（各校区3回以上）</li> <li>・既存の認知症カフェへ参加し支援の協力を行う（6回以上）</li> <li>・東部第2包括や地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会、関係機関と協力し地域の方に認知症に関する理解を深めていただくイベントの開催の検討（1回）</li> <li>・認知症当事者や家族、プラチナサポーターとともにチームオレンジが構築できるように検討会議や活動を行う。（1か所活動できることが目標）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや民生児童委員協議会やカフェほうかつにて認知症や疑いのある方について早期に相談できるように講話や啓発を行う。自治会やサロン等で認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>・認知症カフェ開催の協力</li> <li>・地域住民等に認知症に関する理解を深めたり啓発目的のためのイベントの開催を行う。</li> <li>・ほうかつカフェにて認知症当事者やプラチナサポーターとともに認知症の症状や対応方法等について学ぶ、集いの場を提供する。また、地域住民や福祉事業所とともに構築できないか検討会議の開催や活動の検討。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 1回 20人参加</li> <li>・認知症カフェの開催協力・新規開催の検討 4回/6回以上（コロナ感染拡大予防のため中止もあった）、新規開催はできなかった。</li> <li>・イベントの開催9/28 参加者111人</li> <li>・チームオレンジの活動として認知症に関する啓発イベントや包括カフェ、地域のイベントの開催</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会と協働、また福祉なんでも相談担当者等と連携し相談対応の体制作りや支えあい会議、地域ケア会議や個別の地域ケア会議等で地域課題の抽出を図り必要な支援や社会資源の創出に取り組む。(各校区2回以上)</li> <li>・コンビニやスーパー、美容院、病院等の新たな関係機関のネットワークの構築を図り見守りや支援体制を強化していく。(6か所以上)</li> <li>・民生児童委員協議会や介護福祉施設などと連携を図り高齢者やその他問題を抱える世帯の見守りを行う。(随時)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記関係機関や福祉なんでも相談担当者等と連携を図り相談対応、情報共有を行い協働して支援対応ができるようにする。また、支えあい会議や個別の地域(個別)ケア会議の開催を行い地域の課題をの抽出や解決にむけて支援を検討する。</li> <li>・コンビニやスーパー、美容院、病院等に訪問し顔の見える関係作りを行い見守りの支援体制を作る。</li> <li>・民生児童委員や医療・介護福祉関係者等と協働し高齢者や問題を抱える世帯の見守りや支援を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各会議で協議 東岐波 7回/2回 川上 3回/2回</li> <li>・コンビニや病院、美容院に包括のマグネットの配布し連絡先を周知</li> <li>・民生委員協議会への参加や連絡を取り合い情報共有を随時行った</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合的な問題を抱えている世帯や地域について、地域包括支援センター、地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会、民生児童委員、地域住民等と顔なじみの関係を作り関係機関の協力を得たり情報共有をして解決に向けて支援していく。(毎月)</li> <li>・進捗状況を含め、関係機関等とチームで情報共有、チームで相談しながら支援していく。(随時)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと日々の情報共有を図る。行政や地域・保健福祉支援チームや社会福祉協議会と定期的に情報を共有する機会を持つ。</li> <li>・民生児童委員と顔見知りの関係を作る。</li> <li>・サロンや地域包括支援センターが主催するサロンに参加し地域住民とつながり情報を得る。</li> <li>・問題を抱えている世帯について継続して関係機関と相談しながら支援方法を検討する。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、サロンや包括カフェ等で民生委員、支援チーム、自治会長、地域住民と顔を合わせ相談しやすい関係づくりを行っている。問題を抱えたケースについては包括職員と同行訪問し状況の把握を行っている。</li> <li>・随時、関係機関と情報共有、支援の方向性について確認している</li> </ul>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<p>・圏域に社会的孤立等の課題を抱えている方がどの程度存在するのか実態把握を行う。また、地域の社会資源や支援メニューについて地域包括支援センターや行政、地域・保健福祉支援チーム等と連携しながら支援を行う。（随時）</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>・地域包括支援センターや地域・保健福祉支援チーム、民生児童委員や地域住民から社会的孤立等の問題を抱えている方の情報を得る。（サロンや民生児童委員や訪問等）</p> <p>・圏域内で利用できる社会資源や支援などを把握し必要と思われる方に提案や調整、支援を行う。（地域包括支援センターや地域・保健福祉支援チーム、行政等と情報共有、協働しながら行う）</p>	
自己評価	実績
△	<p>・実態把握については十分に行えていないが平均1～3回程度、相談窓口の啓発目的と困り事などの把握の為に無作為に訪問活動を行っている。</p> <p>・地域住民の意見を聞きながらサロン開催や講話など支援チーム、社協、包括職員と協働して行っている。</p>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

東部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉相談室の継続開催。店舗を活用した相談窓口周知活動 参加者数300名</li> <li>地域サロン教室などあらゆる場面を活用した新総合事業の普及啓発</li> <li>広報誌を年3回発行し、各関係団体とのネットワーク構築を行う</li> <li>保健事業と介護予防の一体的な実施 各校区1団体以上</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発に取り組む。</li> <li>看護師による健康福祉相談室を継続実施し、介護予防普及活動に取り組む。</li> <li>店舗にてチラシ配布活動を行い、健康に関する知識の普及活動や相談場所の周知を行う。</li> <li>身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりややまぐち元気アップ体操等住民主体の取り組みを支援・推進する。</li> <li>支え合い会議を活用しながら、地域サロンなど地域の集まりの場の創出や地域主体の取り組み、有償ボランティア立ち上げ支援について支援を行う。</li> <li>地域サロンや校区行事、各関係団体との集まりの場を活用した新総合事業普及啓発を実施。</li> <li>フレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉相談室を開催し、健康に関する知識の普及活動や介護予防、相談窓口の周知活動を実施した（参加者数 910名：開催回数33回）</li> <li>地域サロン教室に参加し、地域関係者と連携を図り、地域の課題把握に努め、新総合事業の普及啓発を実施した（地域サロン教室参加数 53回）</li> <li>広報誌を年3回発行し、福祉・社会資源に関する情報提供を行い、各関係団体とのネットワーク構築を行った。</li> <li>フレイル予防を目的とした保健事業と介護予防の一体的な実施を3団体に対して支援を実施した（西岐波2団体：下萩原サロン、山村後自治会）、常盤地区1団体（とき和サロンスワン）。</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座 登録者数200名以上（両校区 1回以上）</li> <li>認知症カフェ開催に向けた取り組み 認知症啓発イベント 2回以上</li> <li>プラチナサポーターと共にチームオレンジ構築活動 各校区1回以上</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>両校区において、認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。市と連携し、小中学校における認知症サポーター養成講座の開催に協力する。</li> <li>認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点において、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる認知症カフェ開催に向けた取り組みとして、認知症啓発イベントを実施する。</li> <li>認知症当事者や家族、プラチナサポーターと共にチームオレンジを構築する活動を各校区において1回以上実施し、地域団体と共に組織化・サービス創出について取り組む。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラチナサポーター養成講座を常盤地区で1回実施し、13名のプラチナサポーターを養成した。</li> <li>プラチナサポーターとの意見交換会を5回実施し、今年度は主に山村後自治会認知症SOS訓練開催について連携した。</li> <li>山村後自治会にて認知症SOS訓練を3月26日に実施し、認知症の理解を深めた（参加者44名）</li> <li>認知症カフェ開催に向けて地域代表者と意見交換を行い、令和5年度実施する方向性となった。</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議開催 各校区5回以上</li> <li>・地域（団体・支援者）との情報共有 各校区5回以上</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議を活用しながら各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制構築に向けた取り組みを実施していく。</li> <li>・地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る。</li> <li>・社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する。</li> <li>・民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地区地域ケア会議を年2回実施した。9月には認知症啓発イベントとして「認知症・成年後見制度について」参加者へ講話を行い、理解を深めた。参加者数：事業所関係者44名、地域住民67名</li> <li>・地域支え合い会議を実施し、各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制について協議した（西岐波2回 常盤1回）</li> <li>・地域（団体・支援者）との情報共有を実施し、地域の課題について等を把握した（西岐波6回・常盤4回）</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチによる把握・訪問件数 50件</li> <li>・関係機関等へのアウトリーチ機関数 30機関</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや健康教室等に参加し、地域住民や支援関係機関等との連携との繋がりを構築する。</li> <li>・複合化、複雑化した課題を抱ながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。</li> <li>・課題解決のために関係機関等へのアウトリーチ活動を実施する。福祉分野に限らず、地域住民や郵便局、新事業所等、分野を超えたネットワークの拡大を図る。</li> <li>・地域住民に対する学習会や交流、地域福祉活動へのきっかけ作りや参加促進等に関する取り組みを実施し、介護、子育て、障害など地域生活を支援する担い手を育成する。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや健康教室に参加し、地域住民や支援関係機関等との連携を構築した（教室参加回数27回）</li> <li>・家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を実施した。アウトリーチによる把握・訪問件数 39件</li> <li>・課題解決のために関係機関等へのアウトリーチ活動を実施し、各関係機関との連携に努めた。関係機関へのアウトリーチ数 新規6件</li> </ul>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>重層的支援会議を通じた継続的支援体制の構築</li> <li>課題やニーズ把握及び課題解決策の提案件数</li> </ul>	開催回数 5 回 5 件
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的孤立等の課題を抱える人に対し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行い、社会との繋がりづくりに向けた支援を行う。</li> <li>重層的支援会議を通じて、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワーク作りを行う。</li> <li>利用者のニーズを踏まえた社会資源とのマッチング支援を実施し、マッチング後の定着支援と受け入れ先への支援を実施する。</li> <li>個別支援から課題やニーズの把握及び改善策等の提案を実施していく。自立支援に向けてどのような支援体制が必要か検討し、地域に必要な資源や課題を地域や保険者に提案していく。地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター等と連携し、第2層協議体（地域ケア会議、地域支え合い会議）などを活用し、新たな支援の創出に向けた取り組みを行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>重層的支援会議を通じて、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワーク作りを行った（重層的支援会議を通じた継続的支援体制の構築 開催回数 2 回）。               <ul style="list-style-type: none"> <li>市民センターや地域サロン、関係機関と連携を図り、個別支援から地域課題やニーズ把握に努めた。</li> </ul> </li> </ul>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

西部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
健康意識向上・介護予防活動に向けた取り組み 5回 新たな集いの場づくり 1か所	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自身の健康状態を理解した上で、健康とフレイル予防・感染予防などの知識を普及する。</li> <li>○現在介護予防に取り組んでいない自治会や団体に対して活動を促す。</li> <li>○健康や介護予防に対する関係機関との連携や相談の場を設ける。</li> <li>○厚南市民センター地域・保健福祉支援チームと協働で実施を継続していく。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	健康意識向上・介護予防活動に向けた取り組み 6回/5回 ・ゆめタウン相談会（11回） 人数64人 ・福祉何でも出張相談 8回（西宇部3回、厚南3回、西宇部小2回） ・健康相談会（毎月） 77人 ・お元気だより配布（毎月） ・西宇部まつり（10/16） 厚南会館まつり（11/13） ・健康教室（8月鍋倉8人 10月旭ヶ丘15人 3月里の尾10名 3月大森10名） 新たな集いの場づくり 2カ所/1カ所 ・松見町サロン ・厚南わくわく健康クラブ（7回開催）

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
認知症サポーター養成講座。 3か所 新規認知症カフェ開設支援。 1か所 既存の認知症カフェの共催支援。 1か所 チームオレンジの編成に関わる活動。 既存のSOS模擬訓練継続及び新たな開催場所の取り組み支援。	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関や地域住民に対して認知症サポーター養成講座などを行い、チームオレンジについても普及啓発していく。</li> <li>○認知症だけでなく地域全体をみながら早期の相談支援に対応する為、医師や認知症初期集中支援チームなどの専門職と協力し、併せて家族支援も行う。</li> <li>○対応困難なケースについて部署内で事例検討する。</li> <li>○認知症SOS模擬訓練、認知症カフェ（おれんじかぞく）を継続して開催する。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	認知症サポーター養成講座 3回/3回 ・厚南人権同好会（8月40名）、きたえる一む西宇部（10月9名）、西宇部（12月16名） 新規認知症カフェ開設支援 1カ所/1カ所 JAMカフェ（ツクイ） 既存の認知症カフェの共催支援 1カ所/1カ所 きわなみカフェ チームオレンジの編成に関わる活動 8回 JAMカフェ（5月20人）（9月20人）、東和苑自治会（10月29人）、きわなみカフェ（10月35人） おれんじ家族（10月20人）（3月23人）、SOS模擬訓練（1月60人）、プラチナ交流会（3月14人） 既存のSOS模擬訓練継続及び新たな開催場所の取り組み支援 3カ所 西ヶ丘認知症SOS模擬訓練（1月60人） 東和苑認知症勉強会（10月20名） JA認知症勉強会（11月10名）

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
地域の住民、生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括で協議を開催。 2回 ブロック会議、地域個別ケア会議の開催。 2回 関係機関と連携して、地域住民に向けた地域づくりや見守り体制等の研修会・勉強会を開催。 2回	
事業計画（具体的な取組）	
○地域の見守り活動の推進に向けた意識啓発を継続する。 ○地域課題の把握の為、地区民生委員協議会への参加継続。 ○福祉委員協議会・自治会長などの会議にも可能な限り参加して顔の見える関係性をつくる。 ○ブロック会議を開催する。 ○必要と思われる事例について、関係者とケース会議を開催する。 ○他の団体やサロン主催者などについても協力し合える関係づくりに努める。 ○地域の住民、生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括で情報交換・課題解決方法の検討などを行う。	
自己評価	実績
○	地域の住民、生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括で協議を開催。 2回/2回 3者協議（10/21、 1/26） ブロック会議、地域個別ケア会議の開催。 2回/2回 ブロック会議（6/2・1/12） 地域個別ケア会議 I様（4/26）S様（11/24）、M様（12/16） 3回/2回 関係機関と連携して、地域住民に向けた地域づくりや見守り体制等の研修会・勉強会を開催4回/2回、災害時意見交換会（6/28） サポートセンター勉強会（8/2） 厚南まちづくりサークル（3回シリーズ） セノオテ訪問看護勉強会（3/27）

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
支援関係機関等との連携体制づくり 新規の連携先2件 地域団体、サロンなどへ働きかけて情報提供などの協力を要請する	
事業計画（具体的な取組）	
○相談窓口の周知 継続して「福祉なんでも相談窓口」の周知に努める。 ○新たな支援関係機関との支援体制づくり 一層幅広い関係機関に対して「福祉なんでも相談窓口」を周知する。 ○地域住民や地域の団体との連携を継続し、支援が届いていない人の把握を進める。 地区民生委員協議会への参加、協力体制づくり 日常業務の個別ケース対応においても自治会連合会など地域団体を巻き込んで行く。 ○支援について拒否的な対象者に対しても、直接対面したり継続的な関わりが持てるように働きかけを行う。	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の周知                なんでも相談窓口出張相談会 厚南地区3回 西宇部地区3回 小学校保護者会2回                相談会に併せた地区だよりへの掲載4回                敬老会、研修会等でのPR 民生委員・福祉委員合同研修会 西宇部敬老会 厚南まちづくりサークル 地域計画見直しに関する会議 サロン訪問8カ所など</li> <li>・新たな支援機関との関係づくり                小野田市民病院・小野田赤十字病院MSW、高嶺病院相談員、人権擁護委員、動物愛護団体他</li> <li>・地域住民や地域団体からの相談・情報の収集 協力関係づくり                地区民生委員から相談及び情報提供22件 自治会長、地域住民からの相談、情報提供17件                ケース対応に自治会長が協力4件 福祉委員等が協力4件</li> <li>・支援に拒否的な対象者への連携アプローチ                アウトリーチ支援員同行訪問1件 生活相談サポートセンター同行訪問3件                有償ボランティアグループ同行訪問2件</li> </ul>



## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
地域の社会資源や支援メニューの洗い出し 一覧資料作成 社会的孤立等の課題を抱える人が相談しやすいように窓口を拡大 出張相談窓口 年4回 福祉分野以外の団体との連携ネットワーク拡大 2団体	
事業計画（具体的な取組）	
○相談窓口の周知を継続する。 ○民生委員協議会など福祉分野の協力関係を一層強力なものとする。 ○地域の取り組みに対する支援を継続することで福祉分野以外とのネットワーク構築に努める。 ○福祉分野以外の団体についても支援体制への協力を依頼する。	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会資源や支援メニューの洗い出し資料作成 作成済</li> <li>・出張相談窓口開設 年8回/4回</li> <li>・福祉分野以外の団体との連携ネットワーク拡大 地区自主防災組織 動物愛護団体などと協力関係を作り、社会参加する側受け入れる側の情報を集めた。</li> </ul>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

西部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、健康教室等、地域の集まりの場を生かして介護予防の取り組みを継続実施する。</li> <li>・新規相談時や更新時に介護保険制度や総合事業について説明を行い、本人の希望や状態に応じた適切なサービスの利用につなげる。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5か所の健康教室で感染対策を行いながら、体操や体力測定等を行い、運動機能向上を目指す。（月平均6回）</li> <li>・地域行事、健康教室等で健康診断の受診を促すことで、健康づくりの意識付けを行う。</li> <li>・サロンや健康教室等、地域住民が集まる場所で、総合事業の説明を行い、普及・周知活動を努める。</li> <li>・黒石地区各自治会単位で地区社協主催のもと、地域・保健福祉支援チームと合同でフレイル講座を行い、要支援・要介護状態の予防や改善を図る。（2か所開催）</li> </ul>	
自己評価	実績
○	健康教室、サロン等への参加（87回開催、参加総数：888名） 【定期】 6カ所／月 【不定期】 10カ所／年 地域行事 原ふれあいまつり：1回（190名参加） ゆめタウン相談会：年12回（月平均7名） 広報誌で、地域で実施されている健康教室の取り組みを啓発

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員を中心として、チームオレンジの構築に向けて、プラチナサポーター・地域・保健福祉支援チーム等と連携を図り、認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の力を生かした見守り体制の充実を図る。</li> <li>・認知症高齢者やその家族の身近な相談窓口として、早期相談につながるよう、周知活動を行う。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと共同で認知症サポーター養成講座を開催する。（地域や中学校で2回開催）</li> <li>・高齢者総合支援課と協力して、地域におけるプラチナサポーターの増員を目指す。</li> <li>・プラチナサポーターと協力し、現在実施している認知症カフェ（おれんじかぞく）の内容や開催回数の充実を図る。（隔月開催を目指して体制作りを行う）</li> <li>・各地域行事や健康教室やサロン等で、認知症に関するパンフレットの配布や講話を実施する。</li> <li>・個別の相談に速やかに対応し、医療機関や認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所と連携を図り介護保険サービス等の必要な支援につなげる。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座開催 【地域】3回／年 【中学校】1回／年 【事業所】5回／年（参加総数：366名）</li> <li>・認知症カフェ（おれんじかぞく）開催：年2回 開催回数に関しては次年度以降の課題</li> <li>・プラチナサポーターは2名増員し、現在5名登録されている。</li> </ul> 交流会を2回実施し、プラチナサポーター、地区担当保健師と共にチームオレンジの取り組み内容について話し合いを行った。また認知症カフェでは企画の段階からプラチナサポーターに参加して頂いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2自治会の既存のサロンで、認知症予防の取り組みの充実に向けて働きかけを行った。</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、地域・保健福祉支援チーム、関係機関と連携し、誰もが安心して暮らしやすい、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを行う。</li> <li>・「第三次ゆめプラン黒石」「原地区地域づくり計画」における地域づくりの取り組みに参加する。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部圏域における地域ケア会議や、処遇困難ケース等の地域ケア個別会議の開催を通して、地域課題の抽出を図る。</li> <li>・毎月、民生児童委員協議会定例会に、地域・保健福祉支援チームと一緒に参加し、情報交換を行い連携を図る。</li> <li>・両地区の地域づくり計画の部会に出席する。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック会議：2回</li> <li>・地域ケア個別会議：6回</li> <li>・原地区・黒石地区民生児童委員協議会：計22回</li> <li>・フレイル予防講座（打ち合わせの時に、自治会ごとの健康課題を検討）：3回</li> <li>・福祉委員の見守り活動に関する検討会、福祉委員研修会：各1回</li> <li>・地域づくり計画部会への参加：計9回</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢、障害、生活困窮、子ども等の生活を支える分野を超えた他機関との繋がり、情報共有で顔の見える関係作りに努める。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代や属性を問わない多様な希望に対応できるよう、介護、障害、医療、地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会等の支援機関との繋がりを強化するため、月1回定例会議へ出席、研修に参加する。</li> <li>・支援に結びつかないような個別ケースに、月1回程度見守り訪問を実施する。</li> <li>・サロン、健康教室、民生児童委員協議会、地域作りの部会等に参加し、福祉なんでも相談窓口の周知を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<p>福祉なんでも相談員連絡会・障害ブロック会議：計24回　宇部市認証相談員養成講座：4回  山口県地域福祉推進セミナー（ヤングケアラー）、うべ子育てパートナー養成講座への参加  ご近所ふれあいサロン　6ヵ所：計52回　シニアすこやかプログラム　4ヵ所：計24回  民生児童委員・福祉委員合同研修会の企画および共同開催  個別対応：引きこもりケースに定期的に広報誌を持って行くことで面談を実施することができた。</p>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人や世帯が抱える課題を把握し、個々の状態や希望に沿った生活が実現できるよう、地域の社会資源などを活用し、社会とのつながり作りに向けて支援を行う。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉なんでも相談窓口連絡会議等で、地域福祉課等と連携、情報共有を図り支援を行う。</li> <li>多種多様な相談に対応できるよう、研修会に参加し福祉なんでも相談員としてのスキルアップを図る。</li> <li>地域の資源が活用できるように、社会資源の把握や個々のケースを通じて、民生委員や福祉委員等と連携を図り、支え合いの体制づくりに向けての働きかけを行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<p>福祉なんでも相談員連絡会・障害ブロック会議：年24回            認知症の方の支援にかかわる事例検討会、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業への参加            成年後見制度研修：4回 地区社協によるフレイル講座に協力支援：4カ所            民生児童委員・福祉委員合同研修会の企画および共同開催            個別対応：            ①医療保険未加入の方に助言を行い受診につながったケース            ②地域福祉権利擁護事業につなげたケースなど</p>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

中部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方が介護予防について関心をもっておられるので、地域で行事や会議の時は介護予防の相談窓口として地域包括支援センターを紹介する。(年3回)</li> <li>・地域でのサロンや住民主体の場に積極的に出向いていく。(6カ所)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防の視点から、健康センターとも連携して支援を行いたいと考える。地域の要請があれば、自治会やふれあいセンターなどに出向いて元気に暮らして頂けるような活動を紹介する。</li> <li>・介護保険の申請や更新について包括支援センターが地域の窓口という認知度はかなり上がってきた。今後も宇部市役所の介護保険のパンフレットは市民に受け入れやすく、関係機関の専門職の人も要望が強い。そのため広報活動の一つとしてパンフレットをお渡しする。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、積極的に地域に出向くことが出来た。</li> <li>・包括支援センターのパンフレットは積極的に渡した。そのためか、来所相談は増えている。</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように認知症カフェを地域の自治会館等で開催をする。(2か月に1回)</li> <li>・プラチナサポーターや認知症当事者、ご家族の方と会議開催(3か月に1回)</li> <li>・徘徊模擬訓練(年に1回)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェを地域の民生委員・福祉委員の方と協議をし、地域の自治会館などで行うことを目標とする。上宇部・小羽山で行う。認知症推進員を中心に学びの場を作るようにする。</li> <li>・認知症サポーターの養成等を行い、地域の学校等に出向いて認知症に対する講師を認知症推進員が務める。</li> <li>・プラチナサポーターや認知症当事者、ご家族の方と話し合いの会議を持ち当事者の関わり合いについて知る。</li> <li>・SOS模擬訓練を行い、認知症の接し方を学ぶ。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<p>認知症カフェは民生委員・自治会長等の希望を伺いながら開催した。 上宇部・小羽山地区の認知症推進員会議を2か月に1回行い認知症についての学びを行った。</p>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議を開催し、関係機関や地域の民生委員・福祉委員に参加をお願いし、支援を必要とする方が孤立しないような見守り支援を行う。（地域ケア会議 年 10回）</li> <li>・ブロック会議 2回/年</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 地域の中で複合的であり問題を抱える方が増えています。そのため、福祉・医療関係者や地域を支えてくださる民生委員・福祉委員等広く意見を集める場を作りたいと考えます。また、会議では出来るだけ当事者の人に参加をして頂き、支援者だけの思いではなく、当事者が地域で暮らすために何が支援者として何が必要なのかを基本に置く。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	地域ケア会議は、定期的に行っている。民生委員を中心に地域で複合的な課題に向けて、当事者を交えて会議を行った。当事者の人を交えることを大切に出来たことは実践を通して良かったことである。

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援関係者等と一緒に見守り訪問または家庭訪問を行う。（月50件）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化・複雑化したご家庭を訪問するには、訪問者の数が必要である。そのため、支援関係機関等と連携して、出来るだけ同行訪問する。支援者同士の地域で暮らしている人への対応について一緒に取り組む。継続的訪問を行う場合、職員の数や時間が 必要となるので、民生委員・福祉委員にも協力をお願いする。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	地域の訪問活動を積極的に行った。包括だけでなく、支援者を交えて一緒に訪問をしている。集合住宅等は、積極的に訪問をしている。

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチをし見守り訪問をする中で、社会的なつながりの場所や環境を提示する。</li> <li>・閉じこもりの方への支援者登録 （5名）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問や関係機関からの情報（民生委員・福祉委員）等よりお話を頂いた場合、行政機関や職業安定所、関係機関に報告し御本人の居場所を模索する。</li> <li>・社会とのつながりのひとつとして、地域包括支援センターの存在を認知して頂く。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	中部第1地域包括の特色はアウトリーチであり、積極的に訪問活動を行う。

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

中部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
地域のサロンや健康教室、集いの場において介護予防の周知啓発活動を行う。 2～3か所/月	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内6か所のサロンに参加し、感染対策等に留意しながら継続して開催できるよう支援していく。</li> <li>・各サロンの実情に応じて専門職派遣事業の利用促進、健康づくりや介護予防に取り組むことで参加者の意識向上を図る。</li> <li>・地域住民に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の説明を行い周知していく。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	・地域のサロン・健康教室にて、健康講話・脳トレ体操等7か所で実施。 2～3か所/2～3か所

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
認知症に対する理解を深め、認知症高齢者や家族が安心して暮らせる地域づくりを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催 50名</li> <li>・認知症カフェの開催支援 2か所</li> <li>・圏域（3地区）でチームオレンジを結成 1つ</li> <li>・認知症SOS模擬訓練 1回</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生福祉委員や自治会、地域の集まり等で認知症サポーター養成講座を開催しサポーターを増やす。</li> <li>・認知症カフェに参加し、認知症の方やその家族、支援者が集まって悩み等を相談できる支援体制をつくる。</li> <li>・地域の方やプラチナサポーター、関係機関でチームオレンジを結成し活動していく。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座開催 8回 234人/50人</li> <li>・認知症カフェ開催支援 1か所（2回）/2か所</li> <li>・チームオレンジ活動 10回/1チーム</li> <li>・認知症SOS模擬訓練 0回/1回</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
地域住民、地域・保健福祉支援チームや関係機関と連携し、子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指す。 ・ 支え合い会議の開催 新川地区：6回/年、鶉の島地区：4回/年 ・ 藤山地区は支え合い会議開催に向けての協議を行う	
事業計画（具体的な取組）	
・ 新川地区：地域の団体、地区社協、支援チーム等の関係機関と連携し、支え合い会議の開催。住民アンケート調査を行い、地域課題を抽出し解決に向けた協議を行う。 ・ 鶉の島地区：障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域共生社会を目指し催しの支援を行う。鶉の島会議参加。 ・ 藤山地区：支援チーム、市社協と協力しながら地域の実情を把握し、地域団体への理解を求め開催に向けて協議を行う。	
自己評価	実績
○	・ 支え合い会議の開催 <新川地区> R3年度末に住民アンケート調査実施（4000件配布、883件回収）、分析後に支え合い会議開催1回/6回、アンケート結果を地域住民へ報告1回 <鶉の島地区> 地域共生社会鶉の島会議 3回/4回 <藤山地区> 支え合い会議開催 0回、自主防災会会議・研修会に参加 2回

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
・ 月1～2回地域のサロンに出席、年3回民生委員の集まりに参加、年2～3回子育てサークルの訪問 ・ 障害の地域ブロック会議に毎月参加	
事業計画（具体的な取組）	
・ 地域への周知活動を行い、地域住民との顔の見える関係づくりを行う ・ 対象となる方の課題把握・分析を行う力をつけ適切な支援に繋ぐ	
自己評価	実績
○	・ 地域サロン出席：27回 ・ 子育てサークル：4回 ・ 民生・福祉委員・自治会長福祉講座：2回 ・ 新川支え合い会議：1回 ・ プラン作成3名→2名終結 ・ 障害の地域ブロック会議参加：9回 ・ 鶉の島会議：3回 ・ 鶉の島健康相談：2回 ・ 民生委員と介護支援専門員の交流会：1回

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
障害の就労事業所3件、生活困窮・発達障害等の方の相談窓口等の見学・訪問を行い専門機関の役割や相談方法を学ぶ	
事業計画（具体的な取組）	
地域の社会資源等を把握し、関係機関とのネットワーク・双方が相談しやすい関係づくりに努める	
自己評価	実績
△	障がい施設等見学 3件、生活困窮の方の相談窓口の訪問を行い各機関の役割を学んだ。コロナ禍でもあり、十分な件数の社会資源の見学が出来なかった。該当ケースの抽出にまで至らなかった。 ・ ひきこもりの方の支援者会議参加 1回



## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

北部東地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや集いの場での介護予防に関する出前講座を実施。(3回/年)</li> <li>・郵便局など住民がよく利用する場所へ協力を要請し、健康チェックや介護相談を実施。(1回/3地区)</li> <li>・広報誌「北部東だより」の発行。(2回/年)</li> <li>・支援チーム、地域団体と連携し地域行事やサロンなどでスポーツ体験講座などを実施。(ボッチャ、ラダーゲッターなど)(3回/年)</li> <li>・高齢者施設等で体験出前講座を実施。(1回/年)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉じこもり、運動機能の低下、不活発のリスクなどに対して介護予防の重要性をサロンや住民がよく利用する場所を活用して普及・啓発を行う。</li> <li>・楽しく取り組める介護予防を目指し地区、サロン単位で体験講座などを開催・参加し、住民同士がつながれる場や外出できる場を増やしていく。</li> <li>・広報誌を年2回発行し当センターの周知をはかり認知してもらうことで、相談しやすい体制をつくる。必要に応じて医療・介護予防サービスなどにつなげていく。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや集いの場での介護予防出前講座は実施できた。(10回/3回)</li> <li>・住民がよく利用する場所がセンター以外になくコロナ禍もあって健康チェックや介護相談は実施できなかった。(0/3地区)</li> <li>・広報誌を年2回発行することはできた。(2回/2回)</li> <li>・支援チーム、地域団体と連携し地域行事やサロン等でスポーツ体験講座等を実施できた。(3回/3回)</li> <li>・高齢者施設等で出前講座はコロナ禍にて実施できなかった。(0/1回)</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサロン等へ認知症についての出前講座を行う。(2回/年)</li> <li>・支援チームと連携しながら、認知症サポーター養成講座の開催に向けて関係機関と協議・開催する(2機関)</li> <li>・認知症サポーター養成講座の開催(1回/3地区)</li> <li>・チームオレンジの立ち上げ(1チーム)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症についての正しい知識の普及・啓発を行う。</li> <li>・当事者や家族が地域の中で安心安全に暮らせるように支援チーム、地域住民などと連携して地域づくりに取り組んでいく。</li> <li>・関係機関と連携しながら、チームオレンジの立ち上げを目指す。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サロン等で認知症の出前講座はできた。(5回/2回)</li> <li>・支援チームと連携しながら認知症サポーター養成講座の開催に向けての協議・開催できた。(2回/2回)</li> <li>・認知症サポーター養成講座の開催(2か所・31人参加)</li> <li>・チームオレンジの立ち上げはできていないがサポーター交流会はできた。(3回/2回)</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議の開催・準備（3地区） 厚東地区(4回/年)、二俣瀬地区(1回/年)、小野地区(10回/年)</li> <li>・地域団体が開催する会議などへの出席(1回以上/3地区)</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議や地域づくりの会議等において、地域課題の把握を行い、支援チーム等関係機関と連携しながら解決を目指す。</li> <li>・厚東地区 『ふくし連絡票』を活用し福祉委員、民生委員が連携した見守り活動が行えるよう、交流会を再開する。また、福祉委員が認知症高齢者への理解を深め実践的な対応ができるように認知症SOS訓練を行う。</li> <li>・二俣瀬地区 福祉委員と民生委員が連携して見守り活動が行えるように協議できる場を開催する。地域のサロン活動を支援する。さらに支え合い会議の在り方について地域住民と再検討していく。</li> <li>・小野地区 有償ボランティア「ハッピーライフおの」にて住民のニーズを反映したサービスを提供できるよう今後も協議を行う。高齢者の生活支援、空き家管理など地域課題の把握を行い地域住民が主体となり解決できる仕組みをつくっていく。</li> <li>福祉関係の団体の連携強化について地域住民に投げかけていく。</li> <li>・誰もが住み慣れた地域で暮らしていけるように、関係者間での情報共有を行う。そのために、民児協定例会などの地域団体の会議などへ出席し、当センターの周知を行うことで相談しやすい体制をつくっていく。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い会議開催 厚東地区（3回/4回）、二俣瀬地区（1回/1回）、小野地区（11回/12回）</li> <li>・地域団体が開催する会議（13回/3地区）</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援関係機関との連携件数・・・40カ所</li> <li>・継続的な伴走支援ケース件数・・・3件</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>民生委員・福祉委員、地域団体やリーダー、行政機関や事業所等との連携・協働を通じて、複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題を抱えているために必要な支援が届いていない人の早期発見や地域の状況等情報を幅広く得られるようネットワークの構築と活用、さらなる拡大充実を図る。</p> <p>また、支援が必要で、ニーズを抱えた相談者との信頼関係を構築し、多機関協働事業の活用などで課題を解きほぐすとともに関係機関間の役割分担を円滑に進め、アウトリーチ等を通じて継続的な伴走支援を行っていく。特に自ら支援につながる人が難しい人には丁寧に働きかけながら寄り添って支援していく。</p>	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援関係機関との連携件数・・・41カ所/40カ所</li> <li>・継続的な伴走支援ケース件数・・・4件/3件</li> </ul>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加に向けた支援ケース数・・・5件</li> <li>・地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート件数・・・5件</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>既存の制度・サービスでは対応できないニーズに対応するため、本人のニーズと地域資源との間を取り持つことで本人と社会資源とのマッチングや新たに社会資源の開拓を行い、本人や家族に寄り添って解決の見取り図を考え、社会とのつながりを回復できるよう参加支援を行う。</p> <p>特に、長く社会とのつながりが途切れているものに対しては早急な課題解決を行わず、段階的で時間をかけた支援を行う。</p>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加に向けた支援ケース数・・・4件/5件</li> <li>・地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート件数・・・5件/5件</li> </ul>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

北部西地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンへの参加。(15回/年)</li> <li>・吉部地区で、介護予防教室を開催。(11回/年)</li> <li>・健康相談会で総合事業の周知活動を行う。(12回/年)</li> <li>・万倉健康福祉部会など地域団体と連携し、健康づくりの推進を図る。(5回/年以上)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン代表者の交流会で包括の紹介と出前講座のメニューを配布し、サロンへ参加できるように周知する。</li> <li>・吉部の高齢者を対象に支援チーム・市社協と連携し、介護予防教室を継続的に開催する。</li> <li>・こもれびの郷や山口銀行船木支店での相談会、吉部マルシェなどにおいて、総合事業や介護予防の周知活動をする。</li> <li>・万倉健康福祉部会では万倉の健康増進に向けた行事開催などの支援を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや集いの場への参加 21回/15回</li> <li>・介護予防教室開催 11回/11回</li> <li>・健康相談 11回/12回</li> <li>・万倉地区団体と連携 8回/5回以上</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催(5回以上/年)</li> <li>・認知症カフェの開催と周知(5回以上/年)</li> <li>・認知症SOS模擬訓練の開催(1回以上/年)</li> <li>・チームオレンジ構築に向けたプラチナサポーター交流会等の開催(5回/年)</li> </ul>	
事業計画(具体的な取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を地域住民に対し開催し、認知症に関する正しい知識と理解を発信し、地域共生社会の実現を推進していく。</li> <li>・認知症カフェの開催においては、リモートと対面の両者の特性を生かし、圏域内の他事業所と連携を取りながら、気軽に話せる環境をつくる。</li> <li>・認知症SOS模擬訓練については、すでに認知症サポーター養成講座を行った団体の協力を得ながら地域と共同で開催し、認知症の方への対応を共有する。</li> <li>・プラチナサポーターと準プラチナサポーターとの交流会等を定期的に開催し、チームオレンジ結成を目指す。</li> </ul>	
自己評価	実績
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 10回/5回以上 182人(船木×6回、吉部×3回、万倉×1回、地域や学校)</li> <li>・認知症カフェ 6回/5回以上</li> <li>・認知症SOS模擬訓練 2回/1回以上(8/27船木46人参加、11/26万倉36人参加)</li> <li>・チームオレンジ活動 5回/2回</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・船木地区における地域支え合い会の開催（10回/年以上）</li> <li>・万倉健康福祉部会の会議を支え合い会議に2回/年以上位置付ける。</li> <li>・地区社協主催の福祉交流会への参加（2回/年）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や地区社協、支援チームと連携し、支え合い会議の開催を継続する。</li> <li>・万倉健康福祉部会の会議で地域課題をあげて、解決に向けた議論を進める支援をする。</li> <li>・福祉交流会では福祉委員をはじめ民生委員や自治会長と交流し、各校区の見守りの強化の周知を行う。</li> <li>・地域ケア個別会議を行い、地域課題を顕在化し、地域資源の創出へつなげていく。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船木支えあい会議の開催 12回/10回</li> <li>・万倉地区の支えあい会議 4回/2回以上</li> <li>・地区社協主催の福祉交流会 2回/2回</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンへの参加（15回/年）</li> <li>・出張相談窓口の開催（12回/年）</li> <li>・地域団体の取り組みへの参加（10回/年以上）</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校区のいきいきサロンに参加し、日常の気づきを拾い上げることができるよう努める。</li> <li>・商業施設等人が集まりやすい場所で出張相談窓口を開催し、相談アクセスの向上を図る。</li> <li>・地域団体が実施する船木見守りネットワークやスポレク広場等に参加し、各校区の委員や地域住民、支援機関と連携し、情報収集やネットワークの構築を行う。支援が届いていない人の把握に努め、関係機関と連携を取りながら、継続的支援を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンへの参加 21回/15回</li> <li>・出張相談窓口出張相談窓口 11回/12回</li> <li>・地域団体への取り組みへの参加 13回/10回以上</li> </ul>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源の把握と情報の更新</li> <li>・社会とのつながりづくりに向けた支援を行う</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネートを円滑に行うために、社会資源の把握や既存の情報の更新を行う。</li> <li>・課題が重層化している対象者の既存の制度では対応できないニーズに対応するため、対象者のニーズにあわせた地域資源や支援メニューとのコーディネートをを行う。</li> <li>・社会とのつながりが途絶えている対象者には、課題解決だけを目標とせず、段階的で時間をかけた支援を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源マップ作成中</li> <li>・ネットワーク構築のための連携機関数 132件/100件</li> <li>・個別参加支援 4件/5件</li> </ul>

## 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

南部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
地域のサロンに参加して、健康づくりや介護予防に取り組める内容や企画をサポートするとともに、参加者に周知啓発活動を行う。 ①サロンに参加してプログラム内容や運営継続をサポートする 2～3ヶ所/月	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内3箇所のサロンに毎月参加し、感染対策等に留意して継続した開催になるようバックアップする。</li> <li>・各サロンの実情に応じた、健康づくりや介護予防に関する企画を検討し、参加者の意識向上を図る。</li> <li>・住民に対して、圏域内のサロンや集いの場をチラシ配布等を通じて周知し、参加につなげる。</li> <li>・南部第2高齢者総合相談センターと合同で、フジグラン介護相談会を毎月開催し、健康や介護に対する相談を受け付けるとともに、周知啓発活動を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩田オレンジほっとサロン 年間12回/12回</li> <li>・五十目山サロン 年間10回/10回</li> <li>・則貞サロン 年間10回/11回</li> <li>・フジグラン介護相談会 年間11回/11回</li> </ul>

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
認知症に対する理解を深め、当事者と家族を支える地域づくりを目指す。 ①認知症サポーターの養成 30名/年 ②チームオレンジの構築 1企画/年	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩田地区では見守りネット協議会対象に、認知症サポーター養成講座と学習会を計5回開催する。岬地区では地域住民や事業所を対象に、認知症サポーター養成講座の企画・開催を目指す。</li> <li>・受講者にステップアップ講座を受講していただき、恩田・岬地区住民の中にプラチナサポーターを誕生させて、共に地域に根差した活動を広げていく。</li> <li>・現在のプラチナサポーターと共に恩田地区での認知症学習会を共に企画して開催し、チームオレンジの活動を始動する。</li> <li>・既存のサロン等地域資源を活用し、チームオレンジの構築を目指す。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催 2か所/年で開催し、51名養成</li> <li>・チームオレンジ活動 7回/年</li> </ul>

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<p>住み慣れた地域の中で、障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指す。</p> <p>① 支え合い会議の開催 恩田地区 1回/2ヶ月            ② 支援チーム、社協と共に支え合い会議充実のための打ち合わせ 1回/2ヶ月            ③ 南部ブロック会議（地域ケア会議）の開催 2回/年</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住みなれた地域で暮らすことができる仕組みを、地域住民や市支援チーム、社協等の関係機関と共に検討していくために「支え合い会議」を開催する。</li> <li>・ 恩田校区ではこれまで通り2ヶ月に1回開催して内容の充実を目指し、岬校区では開催に向けて地域団体へ理解を求め、協議を目指す。</li> <li>・ 南部ブロック会議（地域ケア会議）を開催し、地域課題の抽出や課題解決に向けた取り組みを検討する。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恩田地区の支え合い会議開催 6回/年（2ヶ月に1回開催）</li> <li>・ 社協、支援チームとの協議 6回/年（2ヶ月に1回）</li> <li>・ 南部ブロック会議 2回/年</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<p>① 相談受付人数 400人/年、連携機関数 延べ200ヶ所/年            ② 終結に向けた支援 200人/年</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>① 気軽に相談できる地域の窓口になる。            介護・健康相談会や、健康教室・サロン・子育てサークル等へ参加し、顔の見える相談者となる。地域での会議や民児協でのあいさつ等で地域内での周知をはかる。相談経路、相談内容に関わらず相談を受け止める。</p> <p>② 相談時には、速やかに対応する。            関係機関との連携、課題解決し支援体制が整うまで相談者に寄り添う。その後も地域の見守りの一員として支援する。</p>	
自己評価	実績
○	<p>① 相談受付人数432人/年、連携機関数延べ204ヶ所/年            ② 相談のみで終結したケースを除き、170人/年が終結</p>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<p>① 参加支援プランの作成 5人/年            ② 支援会議 10回/年</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>① 支援プランを作成し、地域課題や支援団体を活用する。            ② 課題解決に向けた情報共有や連携が必要な時、支援会議を持つ。</p>	
自己評価	実績
△	<p>① 参加支援プラン 1人/年            ② 支援会議 3回/年</p>

# 令和4年度 地域包括支援センター事業計画書・報告書

資料3-10

南部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
<p>・地域の高齢者が「介護予防」の知識を深め取り組むことで、住み慣れた地域で、できるだけ長く自立した元気な生活をおくることができる。</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>・サロンや集いの場、地域の会議に積極的に出向き、「介護予防」の周知・啓発・情報提供活動を行う。                      ・体の機能が弱っている高齢者を早期発見するため、支援チームの保健師や関係機関とともに健康教室・相談会を定期的（毎月程度）に行う。                      ・虚弱高齢者の方々に対しては、専門職派遣事業や総合事業の紹介を通して、要介護状態にならないよう機能回復の機会を提供、その利用を支援する。</p>	
自己評価	実績
◎	<p>・介護予防サロン（琴）12回 ・共催・参加サロン等 3か所34回 ・健康教室（神・見）24回                      ・健康・介護予防相談会（琴）3回（神）2回（見）1回 ・フジグラン相談会 11回                      ・介護予防出前講座（琴1・神1・見2） ・介護予防チラシ（毎月発行） ・介護予防情報誌作成 各地区用</p>

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
<p>・定期開催の支え合い会議や健康相談会、地域のサロンで、支援の必要な方々やそれぞれの地域の課題について、地域と包括などの支援機関が情報共有できる。                      ・地域の方々が「我が事」として、認知症を理解し、見守りの重要性に気づける。                      ・各地区に1チーム、チームオレンジが誕生する。</p>	
事業計画（具体的な取組）	
<p>・各地区で開催している健康相談会やサロンを継続するとともに、相談支援機関として支え合い会議や民生児童委員定例会等に参加し、情報共有できる体制をつくる。                      ・地域の行事や会議に参加し、認知症への理解やチームオレンジ構築の啓発を行う。                      ・チームオレンジ構築に向け、認知症サポーター養成講座を地域や職域で積極的に開催するとともに、プラチナサポーターとしての活動への誘いを行う。</p>	
自己評価	実績
○	<p>・地域での啓発活動/5回 ・サロン参加・講話/24回 ・認知症サポーター養成講座の開催 4か所33人参加                      ・認知症サポーターステップアップ講座（琴芝）/1回                      ・チームオレンジ活動報告/16回 ・認知症地域支援推進員会議参加/12回                      ・プラチナサポーター交流会主催/2回 ・プラチナサポーター養成講座参加/1回</p>



## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や地域の医療・福祉事業所、各支援機関が地域課題を共有し、達成に向けた具体策を検討し実行する。</li> <li>・民生児童委員や福祉委員とともに高齢者が孤立することがないように、継続的な見守り支援を行う。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員、地区役員、地区ふれあいセンターと引き続き情報共有をはかっていく。</li> <li>・地域・保健福祉支援チームや社会福祉協議会と協働で地区の支えあい会議等に参加する。</li> <li>・ブロック会議等を通じて医療・福祉の専門機関と地域課題の共有を図り、解決に向けて調整を行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック会議/2回</li> <li>・3地区コミュ、3地区自治連、3地区社協（福祉委員）会議参加</li> <li>・民児協への出張情報共有/3地区×12回</li> <li>・見初地区支えあい会議参加/4回</li> <li>・見初情報交換会（地域・社協・支援チーム）/12回</li> <li>・個別支援者会議開催/5回</li> </ul>

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、支援関係者と密に情報交換できる関係づくりを構築して、介護、障害、子育て、生活困窮といった複数な分野に複合的な課題を抱える支援が届いていない人の支援に結びつける。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ(民生児童委員協議会、自治会連合会、地区社会福祉協議会、環境衛生、防災、支えあい会議)や、地域住民の集いの場(健康相談、各サロン、新天町ウォーキング等)、行事に参加する。</li> <li>・氷河期世代支援プラットホーム、障がい等地域支援ブロック、福祉なんでも相談連絡会に参加する。</li> <li>・地域福祉課、地域保健福祉チームや包括支援センターの3職種と連携して、支援に結びつける。</li> <li>・活動参加を通じて、福祉なんでも相談窓口の周知に務める。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事（36件）</li> <li>・集いの場（84件）に参加 120件</li> <li>・会議に参加 35件</li> <li>・関係機関とのチーム連携 14件</li> </ul>

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のサービスに応じられない人や世帯の課題に対応できるように、丁寧に時間をかけて伴走型支援を行う。</li> </ul>	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会資源の把握、各支援機関の機能を習得し適切な支援につなげる。</li> <li>・担当地区に多く見られる8050世帯の就労していない50代の人や、精神に不安がある人に、関係支援者と同行訪問し顔の見える関係づくりを行う。</li> </ul>	
自己評価	実績
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型支援ケース/6件</li> </ul>

## 令和 4 年度地域包括支援センター収支決算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部 1	東部 2	西部 1	西部 2	中部 1	中部 2	北部東	北部西	南部 1	南部 2	
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	26,341,420	26,486,341	27,037,720	24,966,880	28,755,762	26,791,240	16,603,709	17,397,768	27,097,426	27,936,520	
	指定介護予防支援事業	6,474,764	10,294,479	7,311,360	5,481,000	9,731,162	9,589,080	2,969,050	3,634,627	8,760,471	10,423,320	
	歳入合計	32,816,184	36,780,820	34,349,080	30,447,880	38,486,924	36,380,320	19,572,759	21,032,395	35,857,897	38,359,840	
歳出	人件費	包括的支援事業	17,963,280	21,256,081	14,822,904	17,562,702	20,191,545	18,176,138	13,607,139	13,774,585	20,599,001	20,632,342
		指定介護予防支援事業	2,971,303	4,604,882	3,694,729	918,810	2,680,202	1,710,994	1,504,363	2,095,917	3,701,249	3,883,906
		計	20,934,583	25,860,963	18,517,633	18,481,512	22,871,747	19,887,132	15,111,502	15,870,502	24,300,250	24,516,248
	事務費	包括的支援事業	8,231,090	5,230,260	12,214,816	6,636,424	8,564,217	8,615,102	2,996,570	3,623,183	6,498,425	7,304,178
		指定介護予防支援事業	3,463,288	5,689,597	3,616,631	2,762,609	7,050,960	7,878,086	1,575,934	1,538,710	5,059,222	6,539,414
		計	11,694,378	10,919,857	15,831,447	9,399,033	15,615,177	16,493,188	4,572,504	5,161,893	11,557,647	13,843,592
歳出合計	32,628,961	36,780,820	34,349,080	27,880,545	38,486,924	36,380,320	19,684,006	21,032,395	35,857,897	38,359,840		
収支差額		187,223	0	0	2,567,335	0	0	-111,247	0	0	0	

## 【再掲】 包括的支援事業（市受託分について）

(円)

地域包括支援センター		東部 1	東部 2	西部 1	西部 2	中部 1	中部 2	北部東	北部西	南部 1	南部 2
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委託料	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	14,527,000	14,527,000	19,522,000	19,522,000
	介護予防ケアマネジメント費収入	6,819,420	6,954,540	7,515,720	5,444,880	9,233,762	7,269,240	2,076,660	2,493,000	7,038,060	8,414,520
	その他の収入	0	9,801	0	0	0	0	49	377,768	537,366	0
	合計	26,341,420	26,486,341	27,037,720	24,966,880	28,755,762	26,791,240	16,603,709	17,397,768	27,097,426	27,936,520
歳出	人件費	17,963,280	21,256,081	14,822,904	17,562,702	20,191,545	18,176,138	13,607,139	13,774,585	20,599,001	20,632,342
	事務費	8,231,090	5,230,260	12,214,816	6,636,424	8,564,217	8,615,102	2,996,570	3,623,183	6,498,425	7,304,178
	合計	26,194,370	26,486,341	27,037,720	24,199,126	28,755,762	26,791,240	16,603,709	17,397,768	27,097,426	27,936,520
差引収支額		147,050	0	0	767,754	0	0	0	0	0	0

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧( 東部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里光栄	ケアタウン日の山園在宅介護支援センター	4月	1	20	56	185	262
	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	1	20	109	266	396
	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	0	0	0	56	56
	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	0	1	12	31	44
	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	4	0	30	24	58
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス海の家	4月	0	0	24	12	36
	河村福祉サービス	4月	0	0	2	0	2
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	0	0	0	0	0
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	0	0	4	12	16
有限会社エムエッチティー企画	あじす陽だまりの家居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	0	0	2	2	4
株式会社妃先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	12	0	12
医療法人 太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	24	0	24
ホームナース立花	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	4	12	16
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
有限会社 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	2	12	8	23
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	1	0	1
合同会社 いまむら	いまむら居宅介護支援事業所	4月	1	0	47	0	48
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	0	0	30	23	53
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	0	0	24	0	24
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	12	0	12
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	0	0	12	0	12
一般社団法人宇部医師会	宇部医師会在宅介護支援センター	4月	0	1	12	0	13
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun To Life	4月	2	1	63	31	97
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	0	13	0	13
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	12	24	36
ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	4	1	74	3	82
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院	4月	0	0	33	0	33
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター 結和	4月	0	0	16	4	20
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なのはなの家	7月	0	1	0	0	1
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑	4月	0	0	0	0	0
<b>総 計</b>	<b>33事業所</b>		<b>14</b>	<b>47</b>	<b>676</b>	<b>693</b>	<b>1,430</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(東部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	0	2	38	40	80
	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	1	4	36	128	169
	むべの里居宅介護支援事業所 はぎわら	4月	1	0	69	88	158
	むべの里居宅介護支援事業所 輝き	4月	1	0	10	11	22
	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	0	3	14	84	101
	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	4月	0	5	0	109	114
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス	4月	0	1	24	16	41
	(株)河村福祉サービス 海の家	4月	0	0	12	0	12
	(株)河村福祉サービス 宇部南	4月	0	0	12	0	12
医療生活協同組合 健文会	宇部協立在宅介護支援センター	4月	2	0	53	24	79
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1	1	0	15	17
生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	1	0	19	0	20
(株)ニチイ学館	ニチイケアセンター 西岐波	4月	2	0	6	0	8
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1	3	116	57	177
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅介護支援センター	4月	1	0	9	1	11
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	1	75	19	95
(株)愛優会	ケアマネセンター 未来	4月	0	0	6	5	11
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	3	0	106	33	142
有限会社 片倉温泉 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	2	26	7	36
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	33	0	33
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	0	0	20	0	20
山口アポロ石油(株)	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
合同会社 和み会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	0	0	23	15	38
ナースホーム立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	1	0	11	0	12
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1	0	41	12	54
合同会社 ひだまりねっと	合同会社 ひだまりねっと	4月	1	0	23	0	24
医療法人 太白会	シーサイト病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	5	3	121	51	180
社会医療法人	尾中病院居宅介護支援事業所	9月	0	0	0	0	0
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	5月	0	0	0	0	0
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	0	0	0
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	0	0	12	0	12
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	0	1	12	17	30
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	11月					
レナール企画	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
<b>総計</b>	<b>35事業所</b>		<b>23</b>	<b>26</b>	<b>939</b>	<b>732</b>	<b>1,720</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	予防ケアマネジメント	介護予防支援	予防ケアマネジメント	
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里在宅介護支援センター東芝中	4月	0	0	8	0	8
	居宅介護支援事業所中山	4月	0	1	36	11	48
	むべの里 居宅介護支援事業所	4月	0	29	132	868	1,029
	輝きの里 居宅介護支援事業所	4月	1	1	10	146	158
	居宅介護支援事業所むべの里厚南	4月	2	0	9	23	34
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 海の家	4月	0	0	36	14	50
	河村福祉サービス	4月	0	0	18	4	22
	河村福祉サービス 宇部南	4月	0	0	18	0	18
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	5	2	123	29	159
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	3	2	20	12	37
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月	0	0	17	0	17
山口宇部農業協同組合	JA山口宇部居宅介護支援事業所	4月	2	0	17	0	19
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	12	12	24
サンキ・ウエルビ株式会社	サンキ・ウエルビ介護センター宇部	4月	2	0	44	3	49
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	1	13
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	9	2	11
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	6	5	73	39	123
(有)アシステック・ドリビング村重	山ぼうし居宅介護支援事業所	4月	2	0	28	13	43
立花居宅介護支援事業所	立花居宅介護支援事業所	4月	0	1	24	29	54
有限会社希	居宅支援事業所のぞみ	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	0	0	0	11	11
特定営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	0	0	12	12	24
合同会社 呑番街	ケアマネセンター TONTON	4月	1	0	28	3	32
三和ヒューマンサポート(株)	西日本ケアプランセンター	4月	0	3	14	12	29
医療生活協同組合健文会	虹居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	23	0	23
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	1	0	14	15
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業者まどか苑	4月	1	0	37	12	50
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	10	4	14
合同会社 優勇会	総合ケアセンターゆう	4月	0	0	0	9	9
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅支援事業所	5月	1	1	1	4	7
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター 結和	8月	1	0	8	0	9
合同会社 PeAAAce	居宅介護支援事業所PeAAAce	10月	1	0	1	0	2
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	3月	0	0	1	0	1
<b>総計</b>	<b>34事業所</b>		<b>28</b>	<b>46</b>	<b>805</b>	<b>1,287</b>	<b>2,166</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	3	19	111	442	575
	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	0	12	8	32	52
	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月	0	0	24	13	37
	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	0	1	3	84	88
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月	0	0	19	0	19
	河村福祉サービス宇部南	4月	0	0	17	0	17
	河村福祉サービス	10月	0	1	0	1	2
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	2	1	32	3	38
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	5	0	201	72	278
一般社団法人宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	13	0	13
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	0	0	12	0	12
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1	2	13	23	39
株式会社YICTラス	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	0	0	0	3	3
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月	0	0	0	9	9
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1	0	21	1	23
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	0	20	9	29
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	1	6	22	29
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	3	0	3
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	4月	0	1	4	0	5
株式会社 愛優会	ケアマネセンター 未来	4月	0	0	0	4	4
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	3	0	3
合同会社和奏の響	居宅介護支援事業所 結和	4月	0	0	12	0	12
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	7月	1	0	18	0	19
社会福祉法人ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	12月	1	0	1	0	2
合同会社アズユ-	プラスワンプラン	R5.2月	2	0	1	0	3
<b>総計</b>	<b>25事業所</b>		<b>16</b>	<b>38</b>	<b>542</b>	<b>718</b>	<b>1,314</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	5	23	415	639	1,082
	むべの里居宅介護支援事業所	4月	1	2	2	52	57
	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	1	0	1	20	22
	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月	0	0	2	1	3
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	4	4	194	236	438
	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	0	0	17	3	20
	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	9月	0	1	0	6	7
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月	4	2	36	22	64
	株式会社河村福祉サービス	4月	0	0	32	0	32
	株式会社河村福祉サービス海の家	4月	0	0	37	24	61
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	1	0	9	0	10
	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	1	14	0	15
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	1	1	7	5	14
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	20	0	20
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	3	0	138	33	174
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	12	12	24
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	3	0	92	34	129
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	6	0	38	16	60
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	0	0	7	8
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	0	19	0	19
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	4	3	52	38	97
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	2	0	28	13	43
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月	1	0	28	1	30
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	0	2	19	32	53
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	2	3	44	49
株式会社サクラ	ケアハウス桜ケアマネセンター	4月	0	1	22	31	54
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	0	0	12	24	36
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月	1	1	0	12	14
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	0	0	17	1	18

合同会社和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	3	1	36	2	42
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	1	0	133	48	182
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月	0	0	12	12	24
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	8月	1	0	5	0	6
合同会社PeAAAce	居宅介護支援事業所PeAAAce	8月	0	2	3	2	7
有限会社ろしゅう	ろしゅう居宅介護支援センター	9月	1	1	7	3	12
合同会社三起	居宅介護支援事業所いやし	9月	1	1	18	45	65
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	R5.1月	1	0	2	0	3
合同会社アズユー	プラスワンプラン	R5.1月	1	0	2	6	9
<b>総計</b>	<b>39事業所</b>		<b>47</b>	<b>48</b>	<b>1,496</b>	<b>1,424</b>	<b>3,015</b>



## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	21	18	242	281
	むべの里居宅介護支援事業所 厚南	4月	0	0	0	7	7
	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	1	2	86	118	207
	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	3	2	75	53	133
	むべの里居宅介護支援事業所 中山	4月	1	1	38	65	105
	むべの里居宅介護支援事業所 輝き	4月	0	0	24	63	87
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	1	2	49	60	112
	株式会社 河村福祉サービス 海の家	4月	1	1	63	20	85
	株式会社 河村福祉サービス 宇部南	4月	2	0	81	62	145
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	4	0	80	0	84
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	51	12	63
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	1	2	16	5	24
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	2	1	118	59	180
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	0	3	97	44	144
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	6	0	45	12	63
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	2	0	21	0	23
医療法人 和同会	宇部西在宅総合センター	4月	1	0	58	46	105
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	0	0	11	14	25
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	1	1	38	21	61
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	50	18	68
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	2	12	14
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	2	58	12	72
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	4月	0	0	116	45	161
合同会社 ガンホーズ	指定居宅介護支援事業所 たけのこ	4月	0	0	12	0	12
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	1	0	28	0	29
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	4	0	22	15	41
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所 まどか苑	4月	0	0	24	12	36

有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	2	1	13	27	43
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	1	0	41	17	59
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1	0	28	23	52
合同会社 美咲	居宅介護支援事業所 美咲	4月	0	0	15	11	26
合同会社 優勇会	総合ケアセンター ゆう	4月	0	0	22	0	22
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	0	5	5
医療生活協同組合 健文会	虹の居宅介護支援事業所	4月	0	0	7	0	7
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	0	0	49	24	73
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター 結和	4月	0	2	27	26	55
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なのはなの家	4月	1	0	51	0	52
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	1	1	23	3	28
有限会社 ろしゆう	ろしゆう居宅介護支援センター	4月	0	1	15	1	17
合同会社 壱番街	ケアマネセンター TONTON	4月	0	0	23	1	24
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	0	1	14	1	16
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	2	2	4	13	21
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	6月	0	2	13	0	15
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	6月	1	0	1	0	2
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	8月	1	1	6	4	12
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	12月	1	0	0	0	1
合同会社 アズユー	居宅介護支援事業所 プラスワンプラン	R5.1月	1	2	0	1	4
<b>総 計</b>	<b>49事業所</b>		<b>43</b>	<b>51</b>	<b>1,657</b>	<b>1,174</b>	<b>2,925</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部東包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	1	0	32	0	33
	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月	1	0	31	0	32
	株式会社河村福祉サービス海の家	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	1	0	14	46	61
	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	0	0	14	0	14
	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	0	0	0	9	9
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1	0	24	0	25
	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	0	0	0	12	12
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅支援事業所	4月	1	2	29	3	35
山口宇部農業協同組合	JA山口宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	5	0	5
山岸内科	ケアホーム小郡ケアマネセンター	4月	2	0	5	11	18
医療法人泉仁会	在宅介護支援センター豊生苑	4月	0	0	132	32	164
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	1	0	10	11	22
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
合同会社PeAAAce	居宅支援事業所PeAAAce	8月	1	0	6	0	7
有限会社希	居宅介護支援事業所のぞみ	8月	0	1	0	6	7
合同会社アズユー	プラスワンプラン	R5.1月	0	0	4	0	4
<b>総計</b>	<b>17事業所</b>		<b>9</b>	<b>3</b>	<b>330</b>	<b>130</b>	<b>472</b>

## 令和4年度 介護予防及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部西→居宅)

設置法人	事業所名	新規 契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	1	94	32	127
株式会社 愛優会	ケアマネセンター 未来	4月	2	0	78	49	129
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月	0	1	13	35	49
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	0	0	12	0	12
合同会社 優勇会	総合ケアセンター ゆう	4月	0	0	12	20	32
医療法人社団 泉仁会	居宅介護支援事業所 豊生苑	4月	0	0	48	0	48
有限会社 楽庵	ケアマネセンター 楽庵	4月	1	0	22	51	74
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	4	0	23	27
<b>総 計</b>	<b>8事業所</b>		<b>3</b>	<b>6</b>	<b>279</b>	<b>210</b>	<b>498</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所はぎわら	4月	0	0	1	2	3
	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	0	2	18	20	40
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	7	22	158	574	761
	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	4月	0	0	0	11	11
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	0	0	48	0	48
	株式会社 河村福祉サービス宇部南	4月	0	0	12	0	12
	株式会社 河村福祉サービス海の家	4月	0	0	35	0	35
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	5	4	149	138	296
	虹の居宅介護支援事業所	4月	1	0	4	0	5
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	4月	0	1	0	15	16
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1	0	7	29	37
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	3	0	67	12	82
合同会社 いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	3	0	70	2	75
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	1	0	12	0	13
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	1	0	44	0	45
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人いち樹会 尾中病院	4月	0	0	3	0	3
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	24	0	24
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1	1	23	10	35
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	0	1	44	19	64
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	1	0	12	5	18
サンキ・ウェルビー株式会社	サンキウエルビー介護センター宇部	4月	1	1	10	9	21
医療法人 太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	0	3	33	36
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	2	2	26	16	46
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なのはなの家	4月	0	1	0	16	17
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	1	5	8	26	40
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	12	4	16
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	24	0	24

合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	0	1	12	8	21
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	1	0	11	12
合同会社 美咲	居宅介護支援センター美咲	4月	0	0	24	0	24
合同会社 和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月	0	0	9	0	9
合同会社 アズユー	プラスワンプラン	R5.3月	0	1	0	0	1
<b>総計</b>	<b>34事業所</b>		<b>28</b>	<b>43</b>	<b>883</b>	<b>960</b>	<b>1,914</b>

## 令和4年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	0	5	70	238	313
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	14	96	250	361
	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	0	10	12	22
	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	0	1	8	11	20
	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	0	0	12	0	12
	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	7月	0	1	0	12	13
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	0	1	24	18	43
	河村福祉サービス海の家	4月	0	1	27	18	46
	河村福祉サービス宇部南	4月	0	0	33	0	33
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	0	0	12	12
	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	1	0	16	0	17
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	1	0	14	4	19
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	2	0	2
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2	0	36	12	50
社会福祉法人ひとつの会	宇部あいおい苑	4月	0	0	13	0	13
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	7	1	87	26	121
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	4	0	4
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	0	0	19	0	19
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	2	0	33	0	35
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	4	4	122	78	208
医療生活協同組合健文会	協立在宅介護支援センター	4月	2	0	99	20	121
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	2	0	30	2	34
合同会社 壱番街	ケアマネセンターTONTON	4月	0	1	10	3	14
特定非営利活動法人 きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	0	1	0	14	15
合同会社ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月	0	0	12	0	12
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2	0	23	12	37
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	7	0	7
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	2	1	147	107	257
サンキ・ウェルビィ株式会社	サンキ・ウェルビィ介護センター宇部	4月	1	0	3	3	7
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	4	3	25	20	52
株式会社 きわなみ	株式会社 きわなみ	4月	0	0	12	0	12
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFun To Life	4月	0	0	15	0	15

株式会社ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	2	0	99	23	124
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	5	0	5
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	0	6	6
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	4	0	41	8	53
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月	0	0	7	0	7
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ	5月	0	1	7	4	12
株式会社 YICトラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	5月	1	0	11	0	12
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	5月	0	1	3	7	11
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	6月	0	2	0	18	20
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	7月	0	1	0	9	10
合同会社美咲	居宅介護支援事業所 美咲	8月	1	0	8	0	9
合同会社アズユー	プラスワンプラン	R5.3月	0	1	0	1	2
<b>総 計</b>	<b>31事業所</b>		<b>39</b>	<b>40</b>	<b>1,190</b>	<b>948</b>	<b>2,217</b>



## 令和5年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第8期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として『高齢者が「元気」「活躍」「イキイキ」と世代を超えて支え合う、地域共生のまち・うべ』を掲げています。

地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。

令和5年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。</li> <li>・身近な地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握とフレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。</li> <li>・個人の介護予防や生きがいづくりに着目した活動を推進する。</li> </ul>
2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になってもできる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援等）</li> <li>・認知症サポーターの養成等により、地域、職域及び学校に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。</li> <li>・地域の特性を鑑み、認知症当事者や家族、プラチナサポーターとともにチームオレンジの活動を推進していく。活動に当たっては、認知症当事者の視点を取り入れる工夫を行う。</li> </ul>
3 地域支援体制の強化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が安心して暮らすための「地域支え合い包括ケアシステム」をさらに進め、分野横断的に連携して相談対応ができる体制づくりを行い、ネットワークの拡大強化を図る。</li> <li>・民生児童委員や関係機関等とともに高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。</li> <li>・生活支援コーディネーターや住民等と協働で地区単位での支え合い会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。</li> </ul>
4 アウトリーチ等を通じた継続的支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。</li> <li>・地域住民の通いの場や支援関係機関等に積極的に出向き、潜在的な課題の早期発見、早期支援に務める。</li> </ul>
5 社会参加に向けた支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行い、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。</li> <li>・課題解決にあたっては、生活支援コーディネーター等地域づくり関係機関と情報共有し、社会資源の創出を促す。</li> </ul>

○成果指標については、地域の特性等に応じて各地域包括支援センターが設定することとします。

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する。
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうかつカフェを月1回開催（介護予防と認知症予防を意識した内容）</li> <li>・健康福祉相談室を新たに東岐波（年6回）、川上（年1～2回）で行なう</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民主体のサロンや認知症カフェ、地域住民が集う場所に積極的に参加し包括支援センターの啓発、介護予防・健康づくりについて講話や実技を行う。</li> <li>・東部2包括、支援チームと協力し引き続きスーパーや金融機関にて健康福祉相談室として介護予防や健康づくりの啓発を行う。また、新たに東岐波・川上でも健康福祉相談室を開催する。</li> <li>・ほうかつカフェを毎月開催し個別の相談や地域の困りごとを把握する。</li> </ul>	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンで認知症の方への声かけの実技を行う（1回）</li> <li>・ほうかつカフェにてプラチナサポーターに協力してもらい開催。当事者や家族にも参加してもらい相談対応や支援を行う</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや自治会、民生委員を対象に認知症への理解を深めていただけるように啓発や講話等を行う。</li> <li>・認知症や疑いのある方について早期に相談できるように地域や民生委員、医療等と連携を図る</li> <li>・認知症カフェやほうかつカフェ等でプラチナサポーターに協力してもらえるように交流会を開催しチームオレンジの構築の推進をする。</li> <li>・サポーター養成講座の開催（サロンや学校等）</li> <li>・既存の認知症カフェに参加継続。</li> </ul>	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	・地区社協や宇部社協、福祉委員、民生委員等や支援チームと随時顔を合わせる機会を持ち、集いの場の開設支援や地域の困りごとがないか把握する
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部ブロック会議（地域ケア会議）を開催し医療・保健・福祉関係者と事例検討や意見交換を行い地域の現状や課題を把握する。</li> <li>・地域住民や民生委員、福祉委員、社協、支援チーム、何でも相談員と随時、情報共有を行い協働し地域の見守り支援や課題等について把握し検討する。</li> <li>・地域の医療機関や薬局、スーパー、コンビニ、美容院等に訪問し顔の見える関係づくりを行い見守りの支援体制を構築する。</li> </ul>	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	・サロンや地域の行事に積極的に参加し地域住民に受け入れられる関係づくりを継続する ・地域に個別に訪問し問題等抱えていないか把握する。
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと日々、情報共有を図る。行政や支援チームや社協等と定期的に情報共有を図り課題を把握する。</li> <li>・地域住民や民生委員、福祉委員と顔なじみの関係づくりを行う。</li> <li>・サロンや地域の行事に参加し課題を抱えている人がいないか地域の課題がないか把握する</li> <li>・複合的な問題を抱えている世帯については包括支援センターや支援チームや関係機関と情報共有しながら支援方法を検討する。</li> </ul>	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的孤立等を抱える人に対し、包括支援センターや支援チーム、関係機関と支援方法について検討し社会参加につながるように働きかけていく。</li> <li>・不足している社会資源がないか随時、地域や関係機関と情報共有し創出に向けて支えあい会議などを通じて検討する</li> </ul>	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する。
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を対象とした健康福祉相談室開催（店舗・サロン・市民センター活用）</li> <li>地域サロンや保健事業と介護予防の一体的な実施の開催支援</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発に取り組む。</li> <li>看護師による健康福祉相談室を継続実施し、介護予防普及活動に取り組む。</li> <li>店舗にてチラシ配布活動を行い、健康に関する知識の普及活動や相談場所の周知を行う。</li> <li>身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりややまぐち元気アップ体操等住民主体の取り組みを支援・推進する。</li> <li>地域サロンや校区行事、各関係団体との集まりの場を活用した新総合事業普及啓発を実施。</li> <li>フレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。</li> <li>個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する（年3名～5名程度）</li> </ul>	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームオレンジと連携した認知症SOS徘徊模擬訓練の実施</li> <li>認知症カフェの開催支援</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。市と連携し、小中学校における認知症サポーター養成講座の開催に協力する。</li> <li>認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点において、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる認知症カフェ開催に向けた取り組みとして、認知症啓発イベントを実施する。</li> <li>認知症当事者や家族、プラチナサポーターと共にチームオレンジを構築する活動を各校区において1回以上実施し、地域団体と共に組織化・サービス創出について取り組む。</li> </ul>	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上/年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上/年】
独自	・民生委員と医療・福祉関係者との意見交換会実施
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議を活用しながら各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制構築に向けた取り組みを実施していく。</li> <li>・地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る。</li> <li>・社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する。</li> <li>・民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。</li> </ul>	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関/年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件/年】
独自	・サロンや健康教室等に参加し、地域住民や支援関係機関等との連携構築を行う
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化、複雑化した課題を抱ながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。</li> <li>・課題解決のために関係機関等へのアウトリーチ活動を実施する。福祉分野に限らず、地域住民や郵便局、新事業所等、分野を超えたネットワークの拡大を図る。</li> <li>・地域住民に対する学習会や交流、地域福祉活動へのきっかけ作りや参加促進等に関する取り組みを実施し、介護、子育て、障害など地域生活を支援する担い手を育成する。</li> </ul>	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件/年】 ②社会参加につながった実件数【5件/年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件/年】
独自	・社会資源の把握と情報更新を実施する。 ・参加支援プランの作成を行い、社会との繋がりに向けた支援の実施
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行い、社会との繋がりづくりに向けた支援を行う。</li> <li>・重層的支援会議を通じて、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワーク作りを行う。</li> <li>・利用者のニーズを踏まえた社会資源とのマッチング支援を実施し、マッチング後の定着支援と受け入れ先への支援を実施する。</li> <li>・個別支援から課題やニーズの把握及び改善策等の提案を実施していく。自立支援に向けてどのような支援体制が必要か検討し、地域に必要な資源や課題を地域や保険者に提案していく。地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター等と連携し、第2層協議体（地域ケア会議、地域支え合い会議）などを活用し、新たな支援の創出に向けた取り組みを行う。</li> </ul>	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する。
独自	○コロナ渦で地域の活動が縮小してしまった自治会や団体を把握して介護予防に関する普及、啓発を行う。 ○地区社協、地域福祉支援チームと協働して、介護予防に関する活動や個人が活躍出来る場を模索する。
事業計画（具体的な取組）	
○主催者として提供している介護予防の場へ赴き地域住民が求めている支援に応じていく。 山の手、アローカナ、青木さんの健康教室、きどさんのサロン ○地域住民が役割を持ち支え合いながら自分らしく活躍できる場の提供や人材の発掘。 わくわく（有富さん栄養の話など）、 ○年間を通じた継続性のある介護予防生きがいがづくりへの取り組み。 3～5件あげてモニタリング。総合相談で支援に繋がらない方など	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	○既存のSOS模擬訓練及び新たな場での実施。 ○課題のある人の早期発見、個別支援を関係機関、初期集中支援チーム、医師等と連携し、対応していく。 ○地域の見守り体制や意識強化のために、チームオレンジ、プラチナサポーターの周知、啓発を行っていく。
事業計画（具体的な取組）	
○地域住民の意見を反映しながら既存のSOS模擬訓練の実施及び新たな場での実施。 西ヶ丘、東和苑SOS、 ○多様なニーズを持ったケースを支援するためネットワークの強化を図る。 初期集中チーム活用、なんでも相談員との同行 ○認知症に関する取り組みや個別支援に対しプラチナサポーターを交え、地域の見守り体制につなげる。 プラチナサポーター研修会の講義、啓発。プラチナサポーターのチームオレンジ	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	○三者協議・住民懇談会を継続開催し、地域課題を把握する。 ○健康教室に協力し、「相談しやすい窓口」の周知と「情報交換の場」として地域住民と連携し合える関係をつくる。
事業計画（具体的な取組）	
○自治会単位の課題の把握に努め、既存の社会資源と効果的に連携して地域における相談支援の機能を強化する。 三者協議継続開催住民懇談会、支援チームの健康教室、青木さんの健康教室それぞれの課題について把握する。 ○地域生活の現状を地域の多様な担い手（自治会長、民生児童委員、福祉委員、地区社協、ボランティア）と分析し、見守りや身近な居場所づくりに向けた関りを行う。 まちづくりサークル、地域で話し合いができる場を作る ○地域住民が身近な課題として捉えることができるよう複合的な課題を持ったケースについて、地域住民を交え、事例検討を開催する。 地域で事例を用いて検討会（西ヶ丘SOSの前の勉強会等）。	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	○連携できる新たなアウトリーチ先の開拓 福祉関係2機関 福祉関係以外2機関/年 ○個別ケース対応において、可能な限り自治会長など地域団体の協力を仰いでゆく。 2件/年
事業計画（具体的な取組）	
○必要時にアウトリーチができるように関係機関・団体に関わる情報収集に努める。 福祉関係、福祉関係以外（地域の団体） ○地区民生委員協議会に継続して参加するなど、地域の福祉関係機関との関係づくりを継続する。 ○福祉分野以外の地域住民や地域の団体との協力関係も継続し、支援が届いていない人の把握に努める。 まちづくりサークルなど参加して情報収集 ○支援に拒否的な対象者に対しても、必要なら働きかけを継続して行う。	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	○社会参加の受け入れ側となる関係先、機関の開拓 新たな関係機関 1機関/年 ○参加できる地域の団体、グループなどの開拓 2カ所/年
事業計画（具体的な取組）	
○気軽に相談できる相談窓口として周知を継続する。 なんでも相談窓口の周知、おいこら（第一土曜日2回程度） ○民生委員協議会など福祉分野の協力関係を一層強力なものとし、福祉分野以外とのネットワーク構築にも継続して努めることで、社会参加する側と受け入れる側の情報収集に努める。 ○伴走型支援で社会参加を促す。	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する。
独自	④支援者（民生児童委員、福祉委員等）が活動しやすくなるための支援
事業計画（具体的な取組）	
①既存の教室または要請があったものに対して引き続き参加し、普及・啓発を行う。【各地区6回以上/年】 ②保険年金課へ協力しながらシニアすこやかプログラムを推進する。【各地区6回以上/年】 ③現在かかわっているケースへの個別対応をとおして社会参加へつなげていく。 ④介護予防に関するチラシを作成・配布し、支援者（民生児童委員、福祉委員等）が活動しやすいように支援する。	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	④個別の相談に速やかに対応し、必要な支援につなげる。
事業計画（具体的な取組）	
①認知症カフェ（おれんじ家族）の開催【4回以上/年】 ②自治会および中学校で認知症サポーター養成講座を開催【50人以上参加/年】 ③プラチナサポーターや地区保健師と協力し、チームオレンジの活動に向けての打ち合わせや、地区ふれあい祭りで認知症の啓発活動を行う【2回/年】 ④医療機関や認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所と連携を図り実施する。	



## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	
事業計画（具体的な取組）	
①地域ケア会議（西部ブロック会議）、処遇困難ケース等の地域ケア個別会議の開催【2回以上／年】 ②両地区の地域づくり計画に部会に参加【5回以上／年】 地域主催の地域づくり研修会に参加【2回以上／年】	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	③訪問・報告・相談をしながら、包括内での定例会で検討会議を行う。
事業計画（具体的な取組）	
①サロン・地域団体・自治会等でアウトリーチを実施【30機関/年】 ②サロン・地域団体・自治会・来所等で実施【10件/年】 ③検討会議の実施【12回/年】	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	
事業計画（具体的な取組）	
①民生委員児童委員協議会・行政・ハローワーク・相談支援事業所等と連携【15件/年】 ②サロン・地域活動等への参加【5件/年】 ③アウトリーチ活動等の中で把握【2件/年】	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがづくりに着目した活動を推進する。
独自	地域の身近な相談窓口としての機能を発揮していく。
事業計画（具体的な取組）	
①地域で行われる会議や行事、また人が集う場所に参加していき、介護予防の相談窓口としての地域包括支援センターを周知していく。 ②地域でのサロンや住民主体の活動の場に積極的に向かい出していく。 ③福祉サービスやインフォーマルなサービス等へつながっていない高齢者等に、介護予防や生きがいがづくりのための取り組みを紹介していく。	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	地域と共同で行っている見守り研修を継続し、今後認知症について学ぶ機会を増やしていく。
事業計画（具体的な取組）	
①認知症カフェを地域の自治会館等で開催し、認知症について学び、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援体制を強化していく。 ②地域や学校等と連携し、認知症サポーター養成講座を開催していく。 ③チームオレンジの活動に認知症当事者も参加してもらい、その視点を取り入れて行っていく。	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	地域や関係機関等と連携を深め、「顔の見える関係づくり」を強化していく。
事業計画（具体的な取組）	
①地域ケア会議を開催することで、課題や効果的な取り組みについて検討し、解決できる体制を整えていく。 ②地域住民、生活支援コーディネーター、近隣の介護サービス事業所、地域包括支援センター等で情報交換・共有し、課題解決方法の検討等を行っていく。	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	包括で把握している気になる方への見守り訪問を継続して行っていく。
事業計画（具体的な取組）	
①支援関係機関や地域住民との連携体制を構築していく。 ②地域住民への訪問を定期的に行い、抱えている課題を把握していく。	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	見守り訪問を継続して行い、孤立している方等につなぐりの場所や環境を提示していく。
事業計画（具体的な取組）	
①社会的孤立等、本人・世帯が抱えている課題を把握していく。 ②社会資源等を活用し、社会的なつながりや環境を提示していく。 ③生活支援コーディネーター等地域づくり関係機関と情報共有し、社会資源の創出を目指していく。	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいづくりに着目した活動を推進する。【3～5人】
独自	介護予防 クイズラリー開催 【年1回】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防に関する正しい知識や自宅でも取組める運動等のチラシを作成し配布する。</li> <li>・地域のサロンや集いの場に出向き、健康づくりや介護予防に取組むことで参加者の意識向上を図る。</li> <li>・総合相談や関係機関からの相談の中から抽出し、介護予防や社会参加に向けての支援を行う。</li> <li>・社会参加の機会をつくり、ウォーキングや他者交流を楽しみながら脳トレクイズに挑戦。介護予防の意識を高める。</li> </ul>	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	認知症SOS模擬訓練 1回/年
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員を中心として認知症カフェ開催支援を行う。</li> <li>・認知症サポーター養成講座のチラシを配布、認知症の知識や接し方を学ぶ機会をつくる。（認知症サポーター養成講座開催）</li> <li>・プラチナサポーターとの交流会を行い、チームオレンジの活動をしていく。</li> <li>・地域住民を対象に認知症の勉強会を開催し認知症SOS模擬訓練の実施に繋げる。</li> </ul>	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	見守りや支援体制の強化（コンビニ、スーパー、銀行、郵便局などにチラシ配布）【5か所】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健福祉支援チーム、社会福祉協議会、福祉なんでも相談員と協働し地域支え合い会議、地域の会議等に参加し地域課題の抽出、社会資源の創出に取組む。</li> <li>・認知症や障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指して、見守りや支援体制の強化を図る。</li> </ul>	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	薬局・医療機関・郵便局・銀行・配食業者等へ周知活動を行う。 （チラシ配布や連携の協力依頼等）【5カ所】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子ども食堂を訪問し、利用の実情把握を行い、チラシ等の配布を行う。</li> <li>・サロン等にも引き続き参加し、顔の見える相談しやすい関係づくりを継続する。</li> <li>・地区担当保健師と連携し健康相談等にて地域に出向き、地域の状況把握を行う。</li> </ul>	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	参加支援のプラン作成【2件／年】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援事業所や精神科デイケア等の見学を通じて事業所の機能や対象となる利用者の特性等を学び、社会資源として連携できるよう関係づくりを行う。</li> <li>・これまで参加出来ていなかったサロンにも参加し、周知活動を行うと共に新たな連携機関として情報収集を行う。</li> </ul>	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

北部東地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいづくりに着目した活動を推進する。
独自	①地域住民を対象にした介護予防教室の立ち上げ。【1ヶ所/各地区】 ②チラシ等による介護予防の知識の普及・啓発を行う。【2回/年】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ふれあいセンターで介護予防教室を開催し、介護予防の普及・啓発に取り組む。</li> <li>・サロンや老人クラブ、センターで活動している教室等地域住民が集まる場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防の知識の提供を行う。</li> <li>・地域のスポーツ行事等に積極的に参加し、健康づくりを促進する。</li> <li>・健康や介護予防に関する情報をチラシ等で全戸配布し周知啓発に取り組む。</li> </ul>	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	①認知症当事者や家族が集い話せる場づくりを地域住民の身近な場所で開催する。【2回/各地区】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症当事者や家族の支援体制が整えられるように、民生委員や福祉委員と連携協働し地域住民による見守り体制の構築、強化を進める。</li> <li>・認知症の理解や見守りの大切さを周知啓発するため各地区において地域住民、児童生徒を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。</li> <li>・認知症当事者や家族、プラチナサポーター等と協働してチームオレンジを立ち上げる。</li> <li>・地域の人が集まる場所で認知症の早期相談や介護相談を受けられるような場づくりを推進する。</li> </ul>	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上／年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上／年】
独自	①支え合い会議を充実したものにするため市社協・支援チームと協議を行う。【3回／年】
事業計画（具体的な取組）	
<p>・各地区の地域福祉に係る団体等と連携・協働し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう地域課題の発見と課題解決に向けた取り組み、ネットワークを活用しながら必要な支援の実施や、生活支援コーディネーターと新たな社会資源を発掘していく。また、地域住民だけでなく地域内の事業所等との連携・協力により地域全体で高齢者等の見守り体制づくりを推進していく。</p> <p>①厚東地区 支え合い会議の充実 ②二俣瀬地区 支え合い会議の目的を達成できる新たな組織作りと運営 ③小野地区 支え合い会議の目的を達成できる体制強化</p>	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関／年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件／年】
独自	①出張福祉なんでも相談窓口【36件／年】 ②サロンの参加【12件／年】 ③地域行事の参加【6件／年】
事業計画（具体的な取組）	
<p>地域住民の通いの場や支援機関等の関係機関に積極的に出向いたり、民生委員・福祉委員、地域団体のリーダー、行政機関や事業所等との連携・協働を通じて、複合化・複雑化した課題を抱えているために必要な支援が届いていない人の早期発見に努め、信頼関係を構築しながら継続的な伴走支援を行っていく。特に自らから支援に繋がることが難しい人には丁寧に働きかけながら寄り添った支援を行っていく。</p>	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15機関／年】 ②社会参加につながった実件数【5件／年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件／年】
独自	①生活支援コーディネーターとの連携件数【3件／年】 ②新たな社会資源の開発【1件／年】
事業計画（具体的な取組）	
<p>本人のニーズと地域の社会資源とのコーディネートによるマッチングや、既存の制度・サービスでは対応できないニーズに対応するために生活支援コーディネーターと連携協働して新たな社会資源の開拓を行うことで、本人や家族に寄り添った解決の見取り図を考え、社会とのつながりを回復できるよう参加支援を進めていく。</p> <p>特に長く社会との繋がりが途切れている人に対しては、早急な課題解決を行わず、段階的で時間をかけた支援を行っていく。</p>	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

北部西地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがいづくりに着目した活動を推進する。
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉部地区の住民に対し、吉部介護予防教室を開催する。【12回/年】</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こもれびの郷や山口銀行船木支店での健康相談会、吉部マルシェなどにおいて、介護予防に関するチラシ配布など周知啓発を行う。</li> <li>・サロンや地域の団体へ積極的にアプローチし、介護予防や認知症予防の支援を行う。</li> <li>・民生委員や福祉委員へアプローチし、必要性のある対象者を見出し、個別の介護予防の活動を推進する。</li> </ul>	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんどサロンで認知症の相談や勉強会の開催【4回/年】</li> <li>・認知症の方やプラチナサポーターとのイベント開催【1回以上/年】</li> <li>・チームオレンジUOQの開催支援【10回/年】</li> </ul>
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェはオンラインと対面のそれぞれの特性を生かした開催を行い、認知症や家族支援で気軽に相談できる環境を作る。</li> <li>・認知症サポーターは学校を中心に、事業所などでの開催を試み、認知症への理解を周知していく。</li> <li>・チームオレンジ交流会を開催し、チームオレンジの構築をしていく。</li> <li>・チームオレンジ構築に向けて、認知症の方とプラチナサポーター、認知症地域支援推進員と共に生きがいづくりをみつけていく。</li> </ul>	



## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上/年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上/年】
独自	・地域課題の創出に向けて、地域ケア個別会議を行う【2回以上/年】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部ブロックの事業所と連携し、北部ブロック会議に加え、4年ぶりの介護の日のイベントを開催する。</li> <li>・船木支え合い会議では見守りネットワークのさらなる構築を、万倉健康福祉部会では住民の健康と認知症への理解の推進、福祉交流会では福祉委員や民生委員と連携し各校区の課題把握の協議を行う。</li> <li>・民生委員や地域住民からの相談においては、担当ケアマネや民生委員と連携し、個別ケースの検討を行う。</li> </ul>	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関/年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件/年】
独自	・出張相談窓口の開催【12回/年】
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校区のいきいきサロンへ参加し、日常の気づき、地域の変化を拾い上げることができるように努める。</li> <li>・商業施設等人が集まりやすい場所出張相談窓口を継続して開催し、今後も開催の周知を行い参加率を挙げ、地域に根差した相談窓口になれることを目指す。</li> <li>・地域団体が実施する船木見守りネットワークやスポレク広場等に参加し、各校区の委員や地域住民、支援機関と連携し、情報収集やネットワークの構築を行う。支援が届いていない人の把握に努め、関係機関と連絡を取りながら継続支援を行う。</li> </ul>	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件/年】 ②社会参加につながった実件数【5件/年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件/年】
独自	・社会資源マップの作製
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネートを円滑に行うために、社会資源の把握や既存の情報の更新を行う。</li> <li>・課題が重層化している対象者には、既存の制度では対応できないニーズとすることがあるため、対象者のニーズにあわせた地域資源や支援メニューとのコーディネートを行っていく。</li> <li>・社会とのつながりが途絶えている対象者には、課題解決だけを目標とせず、段階的にじっくりと時間をかけて支援を行っていく。</li> </ul>	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

南部第1地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいがいづくりに着目した活動を推進する。
独自	④一般住民に対して、健康作りや介護予防に対する意識醸成を図る。【年6回】
事業計画（具体的な取組）	
①恩田【ふれあいセンター健康相談会 年12回】岬【ふれあいセンター健康相談会 年12回、フジグラン介護相談会 年12回】 ②恩田【サロン3か所×年12回 認知症カフェ2か所×年12回】岬【サロン1か所×年6回】 ③総合相談等により把握したケースに対してアプローチし、地域資源とのマッチングを行う。【3人/年】 ④則貞郵便局に出向き、年金日に来局した住民に対する血圧測定・体組成測定・血管年齢測定等通じて、健康作りや介護予防のアドバイスを行う【年金日=年6回】	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	④子どもに対して、高齢者や認知症への理解を深める。【1回/年】 ⑤地域の見守り体制強化のため声掛け訓練を企画する。【1企画】
事業計画（具体的な取組）	
①認知症カフェの開設【1か所】 認知症カフェ開催支援【2か所×12回】 ②認知症サポーター養成講座の開催【2地区×1回ずつで50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動【認知症カフェでの活動と個別支援 12回/年】 プラチナサポーター交流会【3回/年】 ④学童保育に出向き「やさしさワークショップ」の一環として学習会を開催【1回/年】 ⑤認知症高齢者に対する声掛け訓練の企画【1企画】	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上/年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上/年】
独自	③生活支援コーディネーターと連携し、社会資源の抽出やリスト作成を行う。（2地区）
事業計画（具体的な取組）	
①南部ブロック会議（2回/年以上） 個別地域ケア会議（2回/年以上） ②恩田（支え合い会議6回/年 地域行事参加2回/年） 岬（関係機関との協議 6回/年 地域行事参加2回/年） ③生活支援コーディネーターと連携し、地域の有償ボランティア団体や民生委員、福祉委員等との懇談会を通じて社会資源の抽出やリスト作成を行う。（恩田・岬地区）	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関/年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件/年】
独自	③新しい相談窓口の開設【1カ所/年】 ④研修会に参加【3回/年】
事業計画（具体的な取組）	
①②通いの場や支援機関に出向き、相談窓口の周知と相談しやすい顔の見える関係づくり ③新しい相談窓口の企画 ④研修に参加し対応力の向上を図る	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件/年】 ②社会参加につながった実件数【5件/年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件/年】
独自	④生活支援コーディネーターに資源の相談【1件/年】 ⑤終結後も関わりを持つ【5件/年】
事業計画（具体的な取組）	
①②資源の把握、整理し、相談時提案できる資料の用意 ③関わりの中で、ニーズを見つけていく ④支え合い会議や社協に提案していく ⑤重層的支援等で関わったケースは、終結後も民生委員等と連携し見守っていく	

## 令和5年度 地域包括支援センター事業計画書

南部第2地域包括支援センター

## 1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標	
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）【各地区6回以上/年】 ②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等_大衆アプローチによる介護予防）【各地区6回以上/年】 ③個人の介護予防や生きがいづくりに着目した活動を推進する。【対象：3～5人】
独自	④地域での住民主体の行事に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。
事業計画（具体的な取組）	
①神原健康相談、見初健康チェック、オレンジほっとサロン（琴芝）を毎月開催する。フジグラン介護・健康・福祉相談会毎月開催。各地区の集会に出向き出前講座を行う。各地区にて普及啓発チラシを配布する（毎月）。 ②大関・常安寺・40区・東新川 等のサロン、親和会のすこやかプログラム健康教室、の開催支援。 ③各地区のコミュニティと相談し対象を選定して取り組む。 ④各地区の行事に参加し、地域特性を踏まえた健康課題の把握、啓発活動を行う。	

## 2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標	
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）【4回以上/年】 ②認知症サポーターの養成により、認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する（認知症サポーター養成講座）【50人以上参加/年】 ③チームオレンジの活動を推進する【2回/年】
独自	④見守り活動を支援の柱とした「地区丸ごとチームオレンジ」を構築する【1地区以上】
事業計画（具体的な取組）	
①各地区で認知症カフェを1か所開設。年2回開催する。 ②各地区で認知症サポーター養成講座を開催する。 ③認知症地域支援推進員会議への参加。オレンジほっとサロンの運営、プラチナサポーター交流会の開催、地区の事情にあったチームの構成・支援。 ④地区丸ごとチームオレンジ計画を地区に働きかけ、地区でプラチナサポーター養成講座を開催する。	

## 3 地域支援体制の強化

成果指標	
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）【2回以上/年】 ②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う（地域の会議・支え合い会議・行事に参加）【各地区2回以上/年】
独自	③「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア個別会議を開催）【6回/年】 ④専門職間の連携推進 各地区2回以上/年
事業計画（具体的な取組）	
①地域ケア会議（南部ブロック会議）を3回程度 開催する。 ②地区の支えあい会議や民児協定例会、地域の行事に参加し、地域課題の把握や地域の見守り体制を構築する。 ③地域ケア個別会議を定期的に開催し、高齢者の個別の課題から見えてくる地域課題を把握・解決に向けた検討を地域とともに行う。 ④生活支援コーディネーター、地域・保健福祉支援チーム、福祉なんでも相談員と地域の実情や課題について共通認識の醸成を行い、連携を推進して地域の支援体制の強化を図る。	

## 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
基本	①アウトリーチを実施した実機関数【30機関/年】 ②アウトリーチにより把握した実相談件数【10件/年】
独自	③アウトリーチにより福祉なんでも相談窓口を実施したのべ件数【30件/年】
事業計画（具体的な取組）	
①地域コミュニティ（民生児童委員協議会、自治会連合会、地区社会福祉協議会、環境衛生、防災、支え合い会議）や、地域住民の集いの場（健康相談、各サロン、新天町ウォーキング等）、行事に参加する。地域の商店街を回り周知に努める。 ②地域福祉課、地域保健福祉チーム、包括支援センターの3職種と連携して支援に結びつける。 ③福祉なんでも相談窓口の開設を行う。	

## 5 社会参加に向けた支援

成果指標	
基本	①社会参加に向け連携した実機関数【15件/年】 ②社会参加につながった実件数【5件/年】 ③不足している社会資源を把握した実件数【2件/年】
独自	④社会参加に向けて伴走型支援ケースの実件数【5件/年】
事業計画（具体的な取組）	
①つなぎシートを活用して、生活支援コーディネーター等関係機関と連携する。 ②サロン等関係機関につなぐ。 ③地域の社会資源の把握をする。 ④担当地区に多く見られる8050世帯の就労していない50代の人、精神に不安がある人に、関係支援者と同行訪問し顔の見える関係づくりを行う。	

